



BRCconfiguration Tool ユーザーズガイド

注意事項の定義

本ガイドでは、以下の記号が使用されます。

お願い	お願いは、ご使用していただく上での注意事項、制限事項などの内容を示しています。
	ヒントアイコンは、有益なヒントや補足情報を示しています。
太字	本製品の操作パネルやパソコン画面に表示されるボタンを示しています。

著作権

©2025 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

本文書の情報は予告無く変更することがあります。

本文書に記載されているソフトウェアは、ライセンス契約の下に提供されています。

ソフトウェアは、これらの契約条項に従ってのみ使用またはコピーできます。

本文書のいかなる部分も、ブラザー工業株式会社の書面による事前の許可なしに、いかなる形式または手段によっても複製することはできません。

商標

- Apple、AirPrint、iPad、iPhone および iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- WPA™、WPA2™、および WPA3™ は、Wi-Fi Alliance®の商標です。
- Wi-Fi®は、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Bluetooth® ワードマークは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。ブラザー工業株式会社は使用許諾の下でこれらのマークを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Brother はブラザー工業株式会社の商標もしくは登録商標です。

ブラザー製品、関連文書およびその他の資料に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

重要事項

使用できる機能はモデルによって異なる場合があります。

本ガイド内の画面またはイラストはイメージであるため、実際の形状とは異なる場合があります。

本書の内容ならびに製品の仕様は、予告なく変更されることがあります。

USB 経由で印刷中に、このアプリケーションを起動しないでください。デバイス検索などの機能が正常に動作しない場合があります。

目次

はじめに	1
BRConfiguration Tool をダウンロードする	2
概要	3
動作環境	4
デバイスを検出する	5
新しいデバイスを検出する	6
デバイスをフィルタリングして検索する	7
デバイスステータスを確認する	9
アクションを実行する	10
設定	11
デバイスパスワードを変更する	12
設定を編集する	14
本体設定	16
通信設定	21
管理者	27
P-touch Template 設定	29
用紙サイズ設定	34
デバイス上のファイルの追加または削除	36
本体設定をバックアップする	39
本体設定ファイルを送信する	41
メンテナンス	42
デバイスファームウェアを更新する	43
本体設定を印刷する	44
デバイスをダンプモードに切り替える	45
プリントヘッドのステータスを確認する	46
工場出荷時のデフォルト設定にリセットする	47
自動 Bluetooth 再接続を無効にする	48
デバイスを再起動する	49
選択デバイスの電源を切る	50
アプリケーションの設定	51
全般の設定を行う	52
デバイス検出の設定を行う	53
ネットワークの設定を行う	55
本体設定構成ログを保存する	56
アプリケーション情報を表示する	57
本体設定ファイルを変換する	58
トラブルシューティング	59
デバイスを検出できない場合	60
トラブルシューティング	61

はじめに

- [BRConfiguration Tool をダウンロードする](#)
- [概要](#)
- [動作環境](#)

BRConfiguration Tool をダウンロードする

1. サポートサイト (support.brother.co.jp) で、お使いの製品のソフトウェアダウンロードページを開き、ツールをダウンロードします。
2. ダウンロードしたフォルダー内のアプリケーションファイルをダブルクリックし、画面の指示に従います。

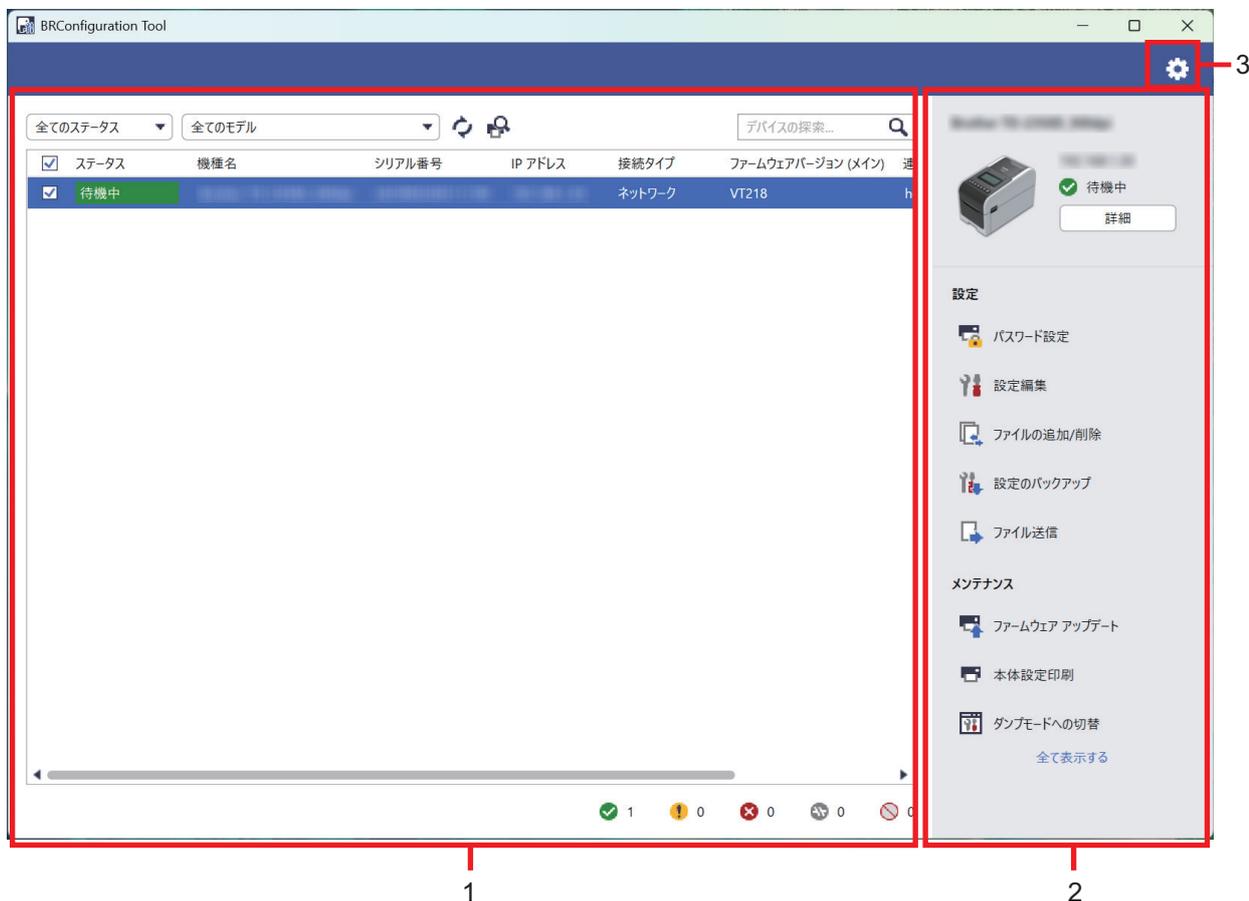
✓ 関連情報

- [はじめに](#)
-

概要

BRConfiguration Tool は、弊社のデバイスの初期セットアップとトラブルシューティングを支援するアプリケーションです。

ホーム画面



1. デバイスリスト

デバイスリストには、各デバイスのデバイスステータス、機種名、シリアル番号、IP アドレス、インターフェース、ファームウェアバージョンなど、接続されているデバイスのリストが表示されます。デバイスリストは、フィルタリング機能と検索機能を備えています。

必要なタスクを完了するには、デバイスリストから 1 つまたは複数のデバイスを選択し、右ペインから目的の設定またはメンテナンスオプションを選択します。

2. 右ペイン

右側のペインには、選択したデバイスの情報、設定およびメンテナンス機能オプションが表示されます。メンテナンス機能オプションは通常、一部のみ表示されます。**全て表示する**ボタンと**表示を減らす**ボタンを使用して、折りたたみ表示と展開表示を切り替えることができます。

3. アプリケーション設定

画面の右上隅の  をクリックして、アプリケーションの設定を変更します。

✓ 関連情報

- [はじめに](#)

関連トピック：

- [アクションを実行する](#)

動作環境

オペレーティングシステム	Windows 10 バージョン 1903 以降 (32 ビットおよび 64 ビット) Windows 11 Windows Server 2016 Windows Server 2019 Windows Server 2022 Windows Server 2025
追加ソフトウェア	.NET Framework 4.8 または 4.8.1



関連情報

- [はじめに](#)

デバイスを検出する

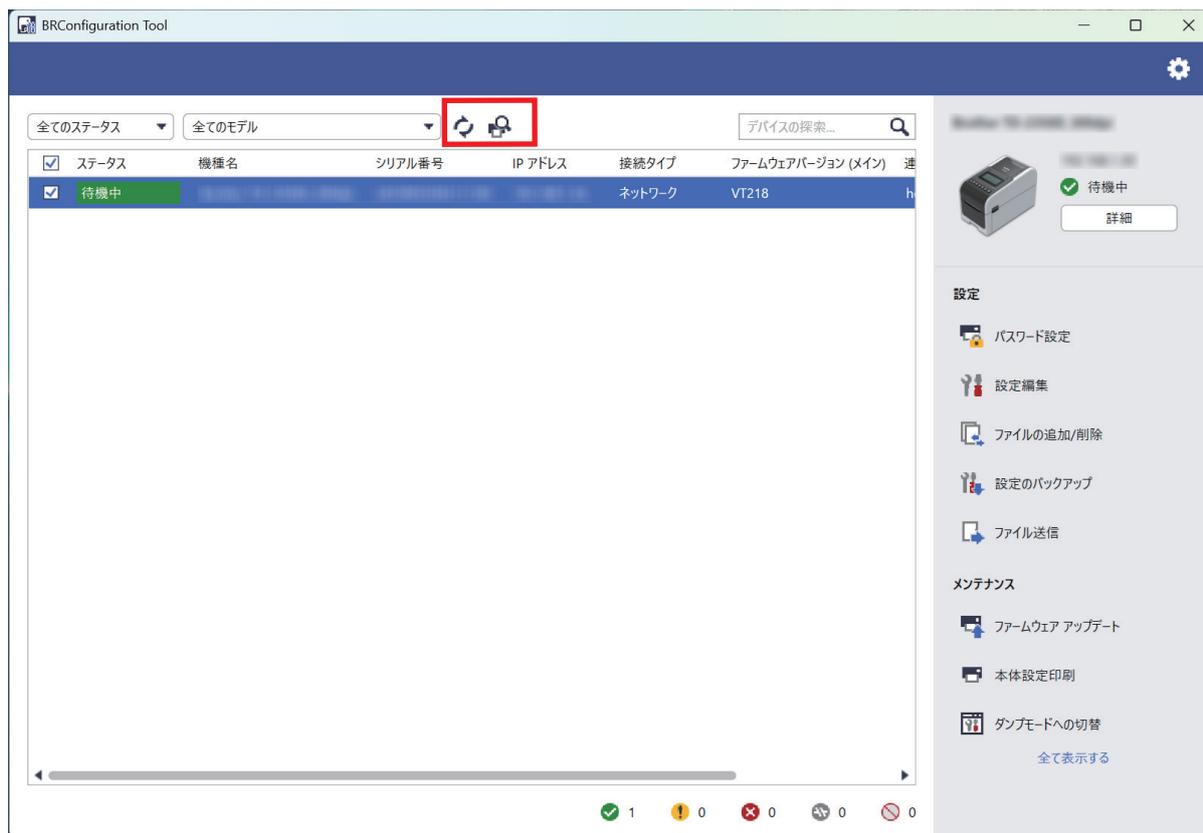
- 新しいデバイスを検出する
- デバイスをフィルタリングして検索する
- デバイスステータスを確認する
- アクションを実行する

新しいデバイスを検出する

BRConfiguration Tool は起動時にデバイスを検出します。リストに対象デバイスがない場合は、次の手順を実行します。

1.  をクリックして、アクティブなデバイスを検索します。

 をクリックすると、ネットワークや USB で接続された新しい弊社デバイスが、検出方法と設定に従ってデバイスリストに表示されます。検出設定の詳細については、「関連トピック」をご覧ください：デバイス検出の設定を行う



2.  をクリックして、デバイスリストの情報を更新します。

✓ 関連情報

- デバイスを検出する

関連トピック：

- デバイス検出の設定を行う

デバイスをフィルタリングして検索する

フィルター

特定のデバイスを一覧表示するために使用できる2つのドロップダウンリストがあります。1つはステータスでフィルタリングし、もう1つは機種名でフィルタリングします。両方のドロップダウンリストを同時に使用して、両方の条件でフィルタリングできます。

- ステータスでフィルタリング

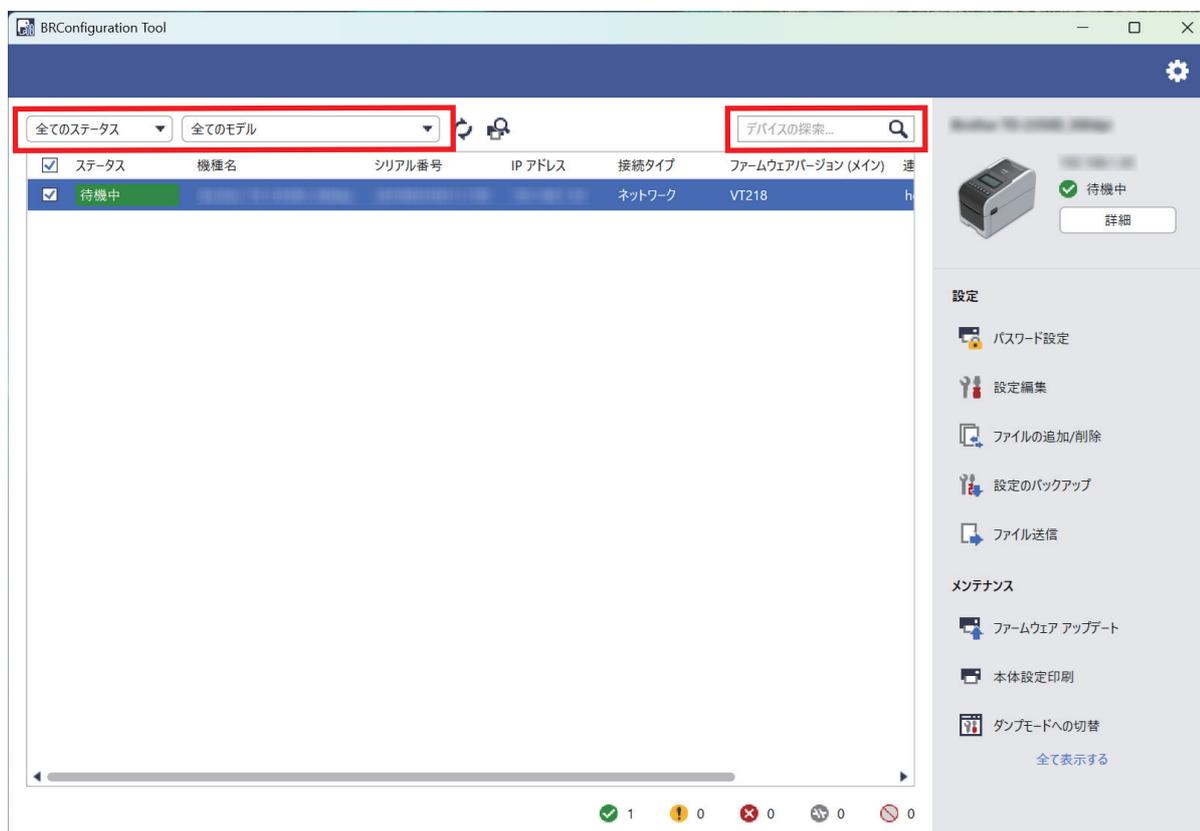
利用可能なステータスフィルターについては、一覧表を参照してください。デフォルトは**全てのステータス**です。

状態	詳細
全てのステータス	すべてのデバイスを一覧表示します。
待機中	待機中ステータスにあるデバイスを一覧表示します。
注意	注意ステータスにあるデバイスを一覧表示します。
非サポート	非サポートステータスにあるデバイスを一覧表示します。
エラー	エラーステータスにあるデバイスを一覧表示します。
接続に失敗しました	接続に失敗しましたステータスにあるデバイスを一覧表示します。

- 機種名でフィルタリング

フィルタリング可能な機種名については、一覧表を参照してください。デフォルトは**全てのモデル**です。

機種名	詳細
全てのモデル	すべてのデバイスを一覧表示します。
デバイスリストにプリセットされているモデル	デバイスリストにプリセットされているすべてのデバイスを一覧表示します。



検索

検索機能を使用すると、デバイスリストのデバイスのうち、シリアル番号、IP アドレス、ファームウェアバージョンなどの検索条件に一致するものを検索できます。



関連情報

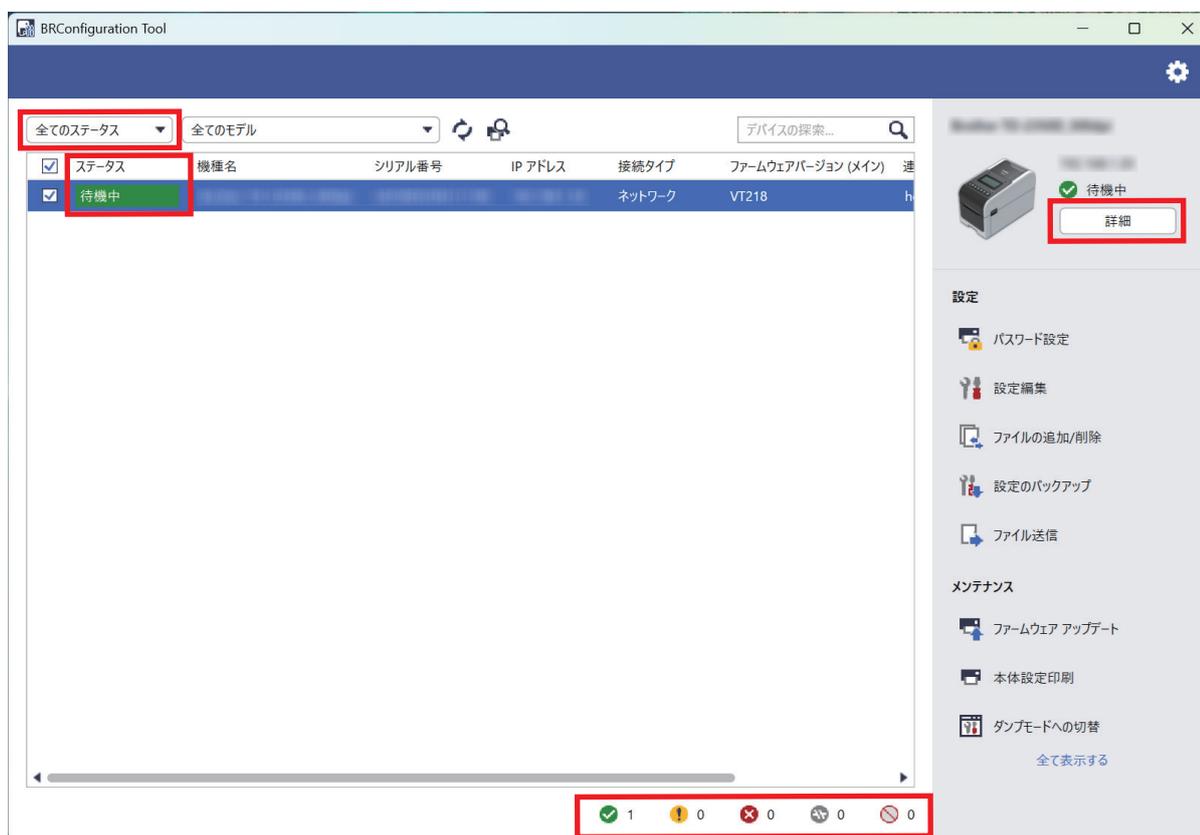
- デバイスを検出する
-

デバイスステータスを確認する

1つまたは複数のデバイスを選択して、そのステータスと情報を表示します。

- 詳細なデバイス情報を確認するには、右ペインの**詳細**ボタンをクリックします。
- ステータスでデバイスをフィルタリングするには、ドロップダウンリストからステータスを選択します。デフォルトのステータスは**全てのステータス**です。
- 注意が必要なデバイスやエラーを表示しているデバイスの数を確認するには、デバイスリストの右下隅にあるアイコンを参照します。

- ✔ 準備完了
- ! 警告
- ✖ エラー
- 🔄 接続エラー
- 🚫 サポート対象外



✔ 関連情報

- デバイスを検出する

アクションを実行する

必要なタスクを完了するには、デバイスリストから1つまたは複数のデバイスを選択し、右ペインから目的の設定またはメンテナンスオプションを選択します。



- 1つのデバイスに関する情報を表示するには、右ペインの**詳細**をクリックします。
- 利用可能なオプションは、選択されたデバイスによって異なります。



関連情報

- [デバイスを検出する](#)

関連トピック：

- [概要](#)
- [設定](#)
- [メンテナンス](#)

設定

- デバイスパスワードを変更する
- 設定を編集する
- デバイス上のファイルの追加または削除
- 本体設定をバックアップする
- 本体設定ファイルを送信する

デバイスパスワードを変更する

- 1つまたは複数のデバイスを選択します。
- パスワード設定オプション（右ペインの**設定下**）をクリックします。

機種名	シリアル番号	IP アドレス	接続タイプ
			ネットワーク

未設定デバイスのパスワードを新しく設定する
 設定済みのパスワードを変更する

デフォルトの管理者パスワードを変更するには最初にデバイスのコントロールパネルから初期設定モードを有効にする必要があります。LCD画面で「パスワードの変更が必要です」ボタンを押し、「はい」を押してから、管理者ボタンを2秒間押し続けてこのモードを有効にしてください。

新しいパスワード:
[パスワード入力欄]

新しいパスワード (確認用):
[パスワード入力欄]

パスワードは 8 ~ 32 文字で設定してください。また、以下から 3 種類以上を組み合わせて作成することを推奨します。

- ・大文字 [A-Z]
- ・小文字 [a-z]
- ・数字 [0-9]
- ・特殊文字: !"#\$%&'()*+,-./:;<=>@[!^_`{ }~

常用単語や個人の情報などの推測されやすい文字列は使用しないでください。

以下が含まれるパスワードは使用できません。

- ・同じ文字が3文字以上 (例: aaa, 222)
- ・アルファベット順で3文字以上 (例: abc, cba)
- ・1つずつ増減する数字が3個以上 (例: 012, 321)

適用 キャンセル

デバイスが USB 経由で接続されているか、LCD パネルを搭載している場合は、デフォルトパスワードを入力せずにパスワードを変更できます。

- 以下のいずれかを行ってください：
 - ・ デフォルトパスワードを変更するには：
 - a. デバイスのコントロールパネルから、ネットワークに接続されたデバイスが初期設定モードになっていることを確認します。
 - b. **未設定デバイスのパスワードを新しく設定する**を選択します。
 - c. **新しいパスワード:欄**と**新しいパスワード (確認用):欄**に新しいパスワードを入力します。
 - d. **適用**をクリックします。
 - ・ 現在のパスワードを変更するには：
 - a. **設定済みのパスワードを変更する**を選択します。
 - b. **現在のパスワード:欄**に現在のパスワードを入力します。
 - c. **新しいパスワード:欄**と**新しいパスワード (確認用):欄**に新しいパスワードを入力します。
 - d. **適用**をクリックします。

✓ 関連情報

- ・ 設定

関連トピック：

- [トラブルシューティング](#)
-

設定を編集する

BRConfiguration Tool を使用して、デバイスの設定を編集できます。

- 1 つまたは複数のデバイスを選択します。
2. **設定編集オプション**（右ペインの**設定**下）をクリックします。

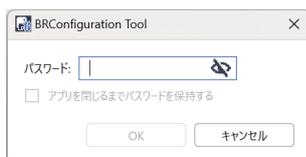


複数のデバイスを選択した場合、または接続エラーが発生した場合、設定は表示されません。

3. **パスワード**:欄にパスワードを入力し、**OK** をクリックします。



ネットワークへの接続にはパスワードが必要です。



4. 左ペインの**本体設定**メニューをクリックします。
 - a. 設定表示エリアの上部にあるタブを選択します。
 - b. タブの設定を行います。
 - c. **本体設定**ウィンドウのすべてのタブで同じ操作を繰り返します。
5. 左ペインの**通信設定**メニューをクリックします。
 - a. 設定表示エリアの上部にあるタブを選択します。
 - b. タブの設定を行います。
 - c. **通信設定**ウィンドウのすべてのタブで同じ操作を繰り返します。
6. 左ペインの**管理者設定**メニューをクリックします。

- a. 設定表示エリアの上部にあるタブを選択します。
 - b. タブの設定を行います。
 - c. **管理者設定**ウィンドウのすべてのタブで同じ操作を繰り返します。
7. 左ペインの **P-touch Template 設定**メニューをクリックします。
- a. 設定表示エリアの上部にあるタブを選択します。
 - b. タブの設定を行います。
 - c. **P-touch Template 設定**ウィンドウのすべてのタブで同じ操作を繰り返します。
8. 左ペインの**用紙サイズ設定**メニューをクリックします。
- a. 用紙リストを編集するには、次のいずれかの手順に従います。
 - i.  をクリックして用紙を追加します。
用紙サイズ設定ウィンドウで設定を指定し、**追加**をクリックします。
 - ii.  をクリックして、用紙設定を編集します。
用紙サイズ設定ウィンドウで設定を編集し、**追加**をクリックします。
 - iii. 不要になった用紙設定を削除するには、 をクリックします。
9. 以下のいずれかを行ってください：
- 選択されたデバイスに設定を適用するには：
 - a. **適用**をクリックします。
 - 設定ファイルをフォルダーに保存するには：
 - a. **保存**をクリックします。
 - b. **保存先:**欄に宛先フォルダーパスを指定します。
 - c. **暗号化する**を選択した場合は、**ファイル パスワード:**欄に暗号化パスワードを入力します。
 - d. **OK** をクリックします。

関連情報

- [設定](#)
 - [本体設定](#)
 - [通信設定](#)
 - [管理者](#)
 - [P-touch Template 設定](#)
 - [用紙サイズ設定](#)

本体設定

本体設定を使用して、本体設定を指定または変更します。

本体設定を 1 台のデバイスに対し変更し、その設定を複数のデバイスに適用することができます。パソコンのアプリケーションから印刷する場合、デバイスドライバーからさまざまな印刷設定を指定できますが、本体設定ツールを使用すれば、より詳細な設定を行うことができます。**本体設定画面**を開くと、デバイスの現在の設定が取得されて表示されます。現在の設定を取得できない場合、以前の設定が表示されます。現在の設定を取得できず、以前の設定が指定されていなかった場合、プリンターのお買い上げ時の設定が表示されます。

>> [基本設定タブ](#)

>> [拡張設定タブ](#)

>> [印字位置 / センサータブ](#)

>> [画面設定タブ](#)

基本設定タブ

• 基本設定

- 連絡先

デバイスの連絡先情報を入力できます（最大 255 文字）。

- ロケーション情報

デバイスの位置情報を入力できます（最大 255 文字）。

• 電源設定

- 自動電源オン

AC 電源コードを AC 電源コンセントに差し込んだときに、デバイスの電源が自動的にオンになるかどうかを指定します。

- オートスリープ

デバイスが自動的にスリープモードになるまでの時間を指定します。



• 下記の条件を満たした状態で指定した時間が経過すると、デバイスは自動的にスリープモードになります。

- デバイスがデータを受信していない。
- LAN ケーブルが接続されていない。（有線 LAN の場合）
- アイドルモードまたはテンプレート選択モードである。
- USB ポートに端末が接続されていない場合。
- シリアルポートで通信を行っていない場合。

• 下記の操作が行われると、スリープモードが解除されます。

- デバイスのいずれかのボタンが押される。
- ロールカバーが開け閉めされる。
- デバイスがデータを受信する。シリアルポート経由でデータを受信する場合以外。
- デバイスがデータを受信する。
- USB ケーブルが抜き差しされる。

- オートパワーオフ

AC 電源コンセントに接続されているときに、デバイスの電源が自動的にオフになるまでの時間を指定します。



- 下記の条件を満たした状態で指定した時間が経過すると、デバイスは自動的にパワーオフモードになります。
 - デバイスがデータを受信していない。
 - LAN ケーブルが接続されていない。（有線 LAN の場合）
 - アイドルモードまたはテンプレート選択モードである。
 - USB ポートに端末が接続されていない場合。
 - シリアルポートで通信を行っていない場合。
- 下記の操作が行われると、パワーオフモードが解除されます。
 - デバイスのいずれかのボタンが押される。
 - ロールカバーが開け閉めされる。
 - デバイスがデータを受信する。シリアルポート経由でデータを受信する場合以外。
 - デバイスがデータを受信する。
 - USB ケーブルが抜き差しされる。

- 充電設定

最大充電量を指定します。



リチウムイオン充電電池の寿命を最大限に延ばすには、**80 %**を選択します。**80 %**を選択すると、1 回の充電で印刷できる印刷ジョブの数は少なくなりますが、リチウムイオン充電電池の寿命を全体的に延ばすことができます。

• 印刷設定

- コマンド系

コマンドモードの種類を選択します。

- 印刷の向き

印刷の向きを選択します。

- 印刷速度

デバイスの印刷速度を選択します。



- 印刷速度を上げると、印刷結果が薄くなることがあります。
- 印刷したラベル上のバーコードが読み難い場合は、より遅い印刷速度を選択します。

- 印刷の濃さ

デバイスの印刷濃度を調整します。

用紙サイズ設定で**エネルギーランク**設定を変更すると、印刷濃度をさらに上げることができます。詳細については、「関連トピック」をご覧ください：用紙サイズ設定

- カバークローズ時の用紙先端合わせ

カバーが閉じられると用紙が自動的に給紙されるかどうかを選択します。

- オートカット

複数のラベルを印刷する場合のカット方法を設定します。

- オートカット: 枚数指定

「オートカット」が「オートカット」または「オートカット + カットアットエンド」に設定されている場合に、カットする前に印刷するラベルの数を指定します（最大 99 ラベル）。

- 発行方式

用紙の排紙・カット方法を選択します。

- 速度自動調整モード

印刷速度を自動的に調整し、最適な印刷濃度で印刷します。

拡張設定タブ

• 各種キー設定

- **フィードキー機能設定**
 が押されたときに実行される操作を選択します。**プログラム設定**が選択されている場合は、**参照**をクリックし、**コマンドファイル**を選択します。
- **ファンクションキー機能設定**
 が押されたときに実行される操作を選択します。**プログラム設定**が選択されている場合は、**参照**をクリックし、**コマンドファイル**を選択します。
 カッターを取り付けている場合は、ファンクションキーに手動カットを設定することができます。
- **メニューキー機能設定**
Menu/メニュー/▼ (選択) ボタンを押したときに実行される操作を選択します。**プログラム設定**が選択されている場合は、**参照**をクリックし、**コマンドファイル**を選択します。
- **ブザー音量**
ブザー音量
 ブザー音の音量を選択します。
- **印刷履歴**
本体の印刷履歴保存
 デバイスの印刷ログを保存するかどうかを選択します。
- **本体情報を印刷する**
内容
 情報レポートに含める情報を選択します。
- **その他**
 - **JPEG 印刷設定**
 JPEG 画像を印刷するときの画像処理方法を選択します。
 - **印刷後の印字データ**
 印刷後に印刷データを消去するかどうかを指定します。
 - **ライナーレス**
 ライナーレスロールのサポートを有効にする場合に選択します。

印字位置 / センサータブ

標準用紙を使用する場合、センサーを調整する必要はありません。

- **印字位置 / センサー**
 - **印字基点補正**
 基準点の位置（印字位置を決める原点）を調整します。これにより、デバイス機種の違いやソフトウェアで固定した余白によって印刷結果がずれるような場合に、印字誤差を調整します。
 ラスター印刷の場合、基準点を調整することはできません。
 - **ティアバー位置補正**
 - ティアバーの用紙カット位置を調整します。

お願い

用紙の種類によっては、カット位置や余白が設定と一致しない場合があります。その場合は、ティアバー位置補正を調整してから、もう一度印刷してみてください。

- デバイスドライバーの**剥離機能を使う**または自動カッター機能を有効にして、印刷後に剥がれたラベルが詰まったり、正しく排出されなかったりした場合は、ティアバー位置補正を調整してから、もう一度印刷してみてください。
- **用紙センサー(透過型/ギャップ)**
 - **検出レベル補正**
 プレカット紙ラベルのギャップ（隙間）検知感度を調整します。

- **発光量の補正**
透過型/ギャップセンサーが放つ光量を調整します。
- **用紙センサー(反射型/バー)**
 - **黒マーク検出レベル補正**
黒マーク検出の感度を調整します。
 - **発光量の補正**
反射型/黒マークセンサーが放つ光量を調整します。
- **用紙センサー(ハクリ)**
ハクリユニット（オプション）が使用されている場合の設定を指定します。
検出レベル補正
ラベルが剥離されたかどうかを検出するセンサーの精度を調整します。
- **台紙余白**
余白
ライナー幅のキャリブレーション値を設定します（最大 255）。

画面設定タブ

- **基本設定**
 - **言語**
液晶ディスプレイに表示される言語を指定します。
 - **バックライト**
バックライトのオンまたはオフを設定します。
 - **消灯までの時間**
デバイスが使用されていない場合にバックライトをオフにするまでの経過時間を設定します。
 - **単位**
初期単位を指定します。
 - **画面の明るさ**
画面の明るさを設定します。
 - **画面の濃さ**
液晶ディスプレイのコントラストを設定します。
- **テンプレート設定**
 - **ホーム画面設定**
デバイスを P-touch Template モードで動作させるかどうかを指定します。
P-touch Template モードでは、以前に設定したテンプレートを使用して、テキストだけを入力してラベルを印刷することができます。
 - **テンプレートタッチ設定**
テンプレートタッチモード画面の表示形式を設定します。
 - **検索方式**
テンプレート一覧から特定のテンプレートを検索する場合の検索方法を設定します。
 - **プリセットテンプレートの表示**
デバイスにプリセットテンプレートを表示するかどうかを設定します。
 - **印刷前の確認**
印刷枚数を確認できるように、印刷前にメッセージを表示させるかどうかを指定します。
- **日時**
 - **日付形式**
時計の日付形式を選択します。
 - **時刻形式**
時計の時間形式を選択します。

-
- **時計機能**
時計機能を設定します。
 - **時計設定**
日時を設定します。
 - **自動時計取得**
SNTP サーバーと時刻を同期させます。
 - **タイムゾーン設定**
タイムゾーンを設定します。
- **カスタム QR**
QR コードデータ
好みのテキストやウェブページを紐づけた QR コードデータを作成し、デバイスの画面に表示します。表示された QR コードをモバイル端末で読み取って、情報を取得できます。

関連情報

- [設定を編集する](#)

関連トピック：

- [用紙サイズ設定](#)
-

通信設定

通信設定を使用して、デバイスの通信方法を指定または変更します。

デバイスの通信設定を 1 台のデバイスに対し変更し、その設定を複数のデバイスに適用することができます。

>> [有線 LAN/無線 LAN タブ](#)

>> [Wireless Direct タブ](#)

>> [Bluetooth タブ](#)

>> [プロトコルタブ](#)

>> [セキュリティタブ](#)

有線 LAN/無線 LAN タブ

- 現在の状態

次の項目の現在のステータスを表示します。

- 有線 LAN の状態 (有線 LAN の場合)
- 無線 LAN の状態 (無線ネットワークの場合)
- チャンネル (無線ネットワークの場合)
- MAC アドレス
- 信号強度 (無線ネットワークの場合)
- IPv6 アドレスリスト

- 基本設定

- パワーオン時のネットワーク設定

電源投入時のネットワーク設定を指定します (有線 LAN と無線 LAN の両方を搭載したモデルの場合)。

- クレードル装着時に有線 LAN に接続 (有線 LAN の場合)

この設定は、デバイスに設定されているすべての設定を上書きします。

- モード選択 (無線ネットワークの場合)

ネットワークモードのオプションを指定します。

- 無線設定 (無線ネットワークの場合)

- SSID(ネットワーク名)

検索をクリックすると、利用可能な SSID が別のダイアログボックスに表示されます。

- 認証方法/内部認証方式/暗号化方式

認証方式でサポートされている暗号化方式は、以下の一覧表のとおりです。

認証方法	暗号化方式
オープンシステム	なし/WEP
共有キー	WEP
WPA3-SAE	AES
WPA/WPA2-PSK/WPA3-SAE	TKIP+AES/AES
EAP-FAST/NONE	TKIP+AES/AES
EAP-FAST/MS-CHAPv2	TKIP+AES/AES
EAP-FAST/GTC	TKIP+AES/AES
PEAP/MS-CHAPv2	TKIP+AES/AES
PEAP/GTC	TKIP+AES/AES
EAP-TTLS/CHAP	TKIP+AES/AES
EAP-TTLS/MS-CHAP	TKIP+AES/AES
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	TKIP+AES/AES

認証方法	暗号化方式
EAP-TTLS/PAP	TKIP+AES/AES
EAP-TLS	TKIP+AES/AES



より高いレベルのセキュリティ設定を指定するには：EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS、または EAP-TLS 認証方式で証明書検証を実行する場合、BRConfiguration Tool で証明書を指定することはできません。デバイスをネットワークに接続するように設定した後に、Web ブラウザからデバイスにアクセスして証明書を指定します。認証証明書のインストールは、BRConfiguration Tool の**セキュリティ**タブから実行することもできます。

- **WEP キー**
WEP が暗号化方式として選択されている場合にのみ設定を指定できます。
- **PSK (事前共有キー)**
WPA/WPA2-PSK/WPA3-SAE が認証方式として選択されている場合にのみ設定を指定できます。
- **ユーザー ID/パスワード**
EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS、または EAP-TLS が認証方式として選択されている場合にのみ設定を指定できます。EAP-TLS では、パスワードを登録する必要はありません。
- **クライアント証明書**
EAP-TLS が選択されている場合は、クライアント証明書を登録する必要があります。証明書を登録するには、Web ブラウザからデバイスに接続し、証明書を選択します。
- **サーバー証明書の検証方法**
サーバー証明書の検証オプションを選択します。
- **サーバー ID**
サーバー ID を入力できるのは、**サーバー証明書の検証方法**が**サーバー ID** に設定されている場合だけです。
- **TCP/IP**
 - **IP アドレスの設定**
AUTO、BOOTP、DHCP、RARP、または STATIC のオプションを選択します。
 - **IP アドレス/ノード名/サブネットマスク/ゲートウェイアドレス**
さまざまなネットワーク値を指定します。これらの設定は、IP アドレスが **STATIC** に設定されている場合にのみ入力できます。
 - **APIPA を有効にする**
APIPA のオンまたはオフを設定します。
- **拡張設定**
 - **起動の試行回数**
選択した IP 取得方法を使用して、起動中にデバイスがネットワーク設定の取得を試みる回数を指定します。
 - **TCP タイムアウト**
タイムアウトするまでの TCP 応答待機時間を指定します。
 - **RARP 設定：サブネットマスクを自動変更しない**
RARP ブート設定を指定します。有効にすると、RARP 経由の IP アドレス取得中にサブネットマスクは使用されません。
 - **RARP 設定：ゲートウェイアドレスを自動変更しない**
RARP ブート設定を指定します。有効にすると、RARP 経由の IP アドレス取得中にゲートウェイアドレスは使用されません。
 - **DNS サーバーの設定**
AUTO または STATIC オプションを選択します。
 - **プライマリ DNS サーバーアドレス/セカンダリ DNS サーバーアドレス**
これらの設定は、DNS サーバーが **STATIC** に設定されている場合にのみ入力できます。
 - **ルーターに対するタイムアウト**

タイムアウトするまでのゲートウェイ応答待機時間を指定します。

- **IPv6**
 - **IPv6 の使用**
IPv6 通信を有効にします。
 - **IPv6 アドレスを優先する**
IPv4 よりも IPv6 を優先します。
 - **固定 IPv6 アドレス**
固定 IPv6 アドレスを指定します。
 - **このアドレスを有効にする**
指定された固定 IPv6 アドレスを有効にします。
 - **プライマリ DNS サーバーアドレス/セカンダリ DNS サーバーアドレス**
DNS サーバーの IPv6 アドレスを指定します。
- **有線 802.1x 認証**（有線 LAN の場合）
IEEE 802.1x 認証を設定します。
 - **有線 802.1x**
有線 LAN ネットワークの IEEE 802.1x 認証を有効または無効にします。
 - **認証方法**
認証方式を選択します。
 - **内部認証方式**
内部認証方式を選択します。
 - **ユーザー ID/パスワード**
EAP-MD5、EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS、または EAP-TLS が認証方式として選択されている場合にのみ設定を指定できます。EAP-TLS では、パスワードを登録する必要はありません。
 - **クライアント証明書**
EAP-TLS が選択されている場合は、クライアント証明書を登録する必要があります。証明書を登録するには、Web ブラウザからデバイスに接続し、証明書を選択します。
 - **サーバー証明書の検証方法**
サーバー証明書の検証オプションを選択します。
 - **サーバー ID**
サーバー ID を入力できるのは、**サーバー証明書の検証方法**が**サーバー ID** に設定されている場合だけです。

Wireless Direct タブ

- **現在の状態**
次の項目の現在のステータスを表示します。
 - **Wireless Direct の状態**
 - **デバイス名**
 - **IP アドレス**
 - **接続クライアント**
 - **信号強度**
- **Wireless Direct 設定**
 - **パワーオン時のネットワーク設定**
電源投入時のネットワーク設定を指定します（有線 LAN と無線 LAN の両方を搭載したモデルの場合）。
 - **SSID/ネットワークキーの生成**
AUTO または STATIC オプションを選択します。
 - **SSID(ネットワーク名)/ネットワークキー**

Wireless Direct モードで使用する SSID (25 文字以下のアスキー文字) とネットワークキー (63 文字以下) を指定します。



お買い上げ時の SSID とパスワードは次のとおりです。

- SSID : 「DIRECT- (シリアル番号の下 5 桁) _ (お使いの機種名)」

- パスワード : *****

ここで、***** は、デバイスの下部または内部のラベルに記載されている 8 桁の Wireless Direct パスワードです。

- チャンネル

Wireless Direct モードに使用するチャンネルを指定します。

Bluetooth タブ

• 現在の状態

次の項目の現在のステータスを表示します。

Bluetooth アドレス

• 基本設定

- パワーオン時の Bluetooth

電源投入時の Bluetooth 設定を指定します。

- デバイス名

デバイス名を入力できます。

- Bluetooth 制御モード

Bluetooth が有効なときの制御モードを選択します。

• クラシック

- 他のデバイスからの検索

他の Bluetooth 機器によってデバイスが検出されることを許可します。

- PIN コード

PIN コードを入力します。

- ペ어링時に本体キーの操作を要求する

クラシック Bluetooth モード使用時にこれを有効にすると、Bluetooth 2.1 以降を実行する機器とペ어링する際にデバイスのボタン操作が必要になります。

- 自動再接続

以前に接続した Apple 製品 (iPad、iPhone、または iPod touch) に自動的に再接続するかどうかを設定します。

• Low Energy

- 最小セキュリティ

Low Energy のみモード使用時の最小セキュリティレベルを選択します。

- ペ어링時に本体キーの操作を要求する

Low Energy のみモード使用時にこれを有効にすると、Low Energy 互換機器とペ어링する際にデバイスのボタン操作が必要になります。

プロトコルタブ

• AirPrint

- AirPrint

AirPrint 機能を有効または無効にします。必要に応じて、ハーフトーン方式を指定し、デバイス識別用の緯度、経度、デバイス名を入力します。

- 緯度/経度

デバイスの物理的な位置の緯度と経度の座標を指定します。

- ハーフトーン

ハーフトーン方式を指定します。

- **プリンター名**

デバイス名を入力できます。

- **Proxy**

- **プロキシサーバーアドレス**

プロキシサーバーのアドレスを入力します。

- **ポート:**

プロキシサーバーへのアクセスに使用するポート番号を指定します。

- **ユーザー名:**

プロキシサーバーへのログイン権限を持つユーザー名を入力します。

- **パスワード:**

ユーザー名:欄に入力したユーザー名のパスワードを入力します。

- **SNMP**

- **SNMP v1/v2c モード設定**

デバイス通信に使用する SNMP モードを指定します。

- **Get:**

SNMP Get 操作に使用するコミュニティ名を入力します。

- **Set:**

SNMP Set 操作に使用するコミュニティ名を入力します。

- **ユーザー名:**

SNMPv3 認証に使用するユーザー名を入力します。

- **認証方法**

SNMPv3 通信に使用する認証プロトコルを指定します。

- **認証パスワード:**

SNMPv3 認証に使用するパスワードを入力します。

- **暗号化パスワード:**

SNMPv3 通信の暗号化に使用するパスワードを入力します。

- **コンテキスト名:**

アクセス制御に使用する SNMPv3 コンテキスト名を入力します。

- **SNTP**

- **同期状態**

最新の同期状態を確認します。

- **SNTP サーバー設定の方法**

AUTO または **STATIC** オプションを選択します。

- **プライマリー SNTP サーバーアドレス/セカンダリー SNTP サーバーアドレス**

サーバーのアドレスを 255 文字以内で入力します。

セカンダリー SNTP サーバーのアドレスは、プライマリー SNTP サーバーのアドレスの予備として使用されます。プライマリーサーバーが利用できない場合、本製品はセカンダリー SNTP サーバーと通信します。

- **プライマリー SNTP サーバーポート/セカンダリー SNTP サーバーポート**

ポート番号を入力します (1~65535)。

セカンダリー SNTP サーバーポートは、プライマリー SNTP サーバーポートの予備として使用されます。プライマリーポートが利用できない場合、本製品はセカンダリー SNTP ポートと通信します。

- **同期間隔**

サーバーとの同期処理の間隔 (1~24 時間) を入力します。

- **Web Services**

- **Web Services**

デバイス通信およびリモートアクセスに使用される Web サービスを有効または無効にします。

- **Web Services 名**

Web サービスでの識別に使用するデバイス名を指定します。

- **その他**

- **Web Based Management (Web Server)**

ブラウザ経由でのデバイス管理のための内蔵 Web サーバーを有効または無効にします。

- **LPD**

ネットワーク印刷用の LPD プロトコルを有効または無効にします。

- **Raw port**

指定したポートを使用したダイレクトネットワーク印刷用の Raw プロトコルを有効または無効にします。

- **IPP**

リモート印刷用の IPP を有効または無効にします。

- **FTP サーバー**

ファイル転送用の FTP サーバーを有効または無効にします。

- **FTP クライアント**

FTP サーバーにファイルを送信する FTP クライアントを有効または無効にします。

- **TFTP**

簡易ファイル転送用の TFTP を有効または無効にします。

- **mDNS**

ローカルネットワーク上でのデバイス検出用の mDNS を有効または無効にします。

- **LLMNR**

ローカルネットワーク内の名前解決のための LLMNR を有効または無効にします。

セキュリティタブ

- **CA 証明書**

認証局 (CA) からインポートされた証明書のリストを表示します。



新しい証明書をインポートします。



選択した証明書を削除します。

- **Client 証明書**

インポートされたクライアント証明書のリストを表示します。



新しい証明書と秘密鍵をインポートします。ファイルが暗号化されている場合は、パスワードを入力する必要があります。



選択した証明書を削除します。

✓ 関連情報

- [設定を編集する](#)

管理者

管理者設定を使用して、リモートアップデートやセキュリティ設定などの管理オプションを指定または変更します。

>> [アップデートタブ](#)

>> [NFC タブ](#)

>> [セキュリティタブ](#)

アップデートタブ

FTP

- **アップデート ID**
デバイスに適用されたアップデートの識別子を表示します。
- **FTP サーバーの IP アドレス**
FTP サーバーのアドレスを入力します。
- **ポート:**
FTP サーバーへのアクセスに使用するポート番号を指定します。
- **パッシブモード**
FTP 通信のパッシブモードを有効または無効にします。
- **ユーザー名:**
FTP サーバーへのログイン権限を持つユーザー名を入力します。
- **パスワード:**
ユーザー名:欄に入力したユーザー名のパスワードを入力します。
- **ログ出力**
アップデートログを FTP サーバーにエクスポートするかどうかを選択します。
- **FTP サーバーの出力先パス**
ログデータをエクスポートしたい FTP サーバー上のフォルダーのパスを入力します。
- **取得先パス**
アップデートファイルが保存されている FTP サーバー上のディレクトリパスを指定します。
- **設定ファイル名**
リモートアップデートに使用する設定ファイルの名前を指定します。
- **SSL/TLS**
セキュリティで保護された FTP 通信に使用する暗号化方式を指定します。
- **サーバー証明書を検証**
FTP サーバーの SSL/TLS 証明書の検証を有効または無効にします。
- **自動更新**
アップデートの自動チェックとインストールを有効または無効にします。
- **更新チェック**
アップデートのチェックに使用する方法を指定します。
- **一定間隔**
アップデートを自動的にチェックする間隔を指定します。
- **指定時間**
アップデートをチェックする正確な時刻を指定します。

NFC タブ

NFC

接続タイプ

NFC 機能を使用して、Bluetooth 接続または Wireless Direct 接続を確立します。

セキュリティタブ

その他

- **設定キー禁止**
メニュー設定をロックして、変更できないようにします。
- **Bluetooth/WLAN 完全無効モード**
Bluetooth または Wi-Fi のインターフェースを無効にすることができます。この機能は、信号伝送ができない場所でデバイスを使用する場合に役立ちます。
- **管理パスワード**
管理者モードを設定する場合は、**オン**を選択します。
- **パスワード:**
メニュー設定を変更するために必要となる 4 桁のパスワードを設定します。
- **編集禁止**
オブジェクトの編集を禁止するかどうかを選択します。
- **電源 ON 時ヘッドチェック**
デバイスの電源をオンにしたときに印字ヘッドの状態をチェックするかどうかを設定します。

✓ 関連情報

- [設定を編集する](#)
-

P-touch Template 設定

P-touch Template 設定を使用して、P-touch Template 機能を指定または変更します。



P-touch Template 設定の詳細については、「P-touch テンプレートマニュアル/コマンドリファレンス」をご覧ください。最新版は、サポートサイト (support.brother.com/manuals) からダウンロードできます。

>> [基本設定タブ](#)

>> [シリアル接続設定タブ](#)

基本設定タブ

• テンプレート

- テンプレート番号初期値

デバイスがオンになったときに設定されるテンプレート番号の初期値を選択します。テンプレートをデバイスに転送したくない場合は、テンプレート番号を指定しないでください。

- 区切り記号

ファイル内のデータのグループ間の境界を示す記号を表示します（最大 20 文字）。

- 連番モード

印刷するラベルを連番にする（ナンバリング）方法を指定します。

- 印刷枚数

印刷枚数を設定します（最大 999 枚）。

- 印刷開始トリガ

印刷を開始するトリガーを複数のオプションから指定します。

- **印刷開始コマンド文字列**：ここで指定したコマンド文字を受信すると、印刷を開始します。
- **すべてのオブジェクトのデータ取得後**：最後のオブジェクトの区切り文字を受信すると、印刷を開始します。
- **指定データサイズ受け取り後**：ここで指定した文字数を受信すると、印刷を開始します。ただし、区切り文字は文字数に含まれません。

• 文字設定

- 文字コードセット

いずれかの文字コードセットを選択します。

- 改行コード

改行コードは、後続のデータをテキストオブジェクトの次の行に移動する必要があることを示すために、データを送るときに使用されます。4 つの改行コードのいずれかを選択するか、好みの改行コードを入力します（最大 20 文字）。

- FNC1 置換

GS コードを FNC1 に置き換えます。

- 国際文字

特定の地域用の文字セットの一覧を表示します。次のコードは、選択した国によって異なります。

23h 24h 40h 5Bh 5Ch 5Dh 5Eh 60h 7Bh 7Ch 7Dh 7Eh 文字を変更するには「P-touch テンプレートマニュアル/コマンドリファレンス」をご覧ください。最新版は、サポートサイト (support.brother.com/manuals) からダウンロードできます。

- 読み捨て文字列

ここで指定した文字は、データが受信されても印刷されません（最大 20 文字）。

- プレフィックス文字

P-touch Template モードで使用されるコマンドを識別する接頭文字コードを指定します。

シリアル接続設定タブ

シリアル接続設定

- **ボーレート**
シリアル通信のデータ送信速度を指定します。
- **ビット長**
シリアル通信で各文字を表すために使用するビット数を指定します。
- **ビジー制御**
デバイスがビジー状態のときに、データフローを管理するために使用する方法を指定します。
- **パリティ**
シリアル通信でエラー検出に使用するパリティ設定を指定します。

✓ 関連情報

- [設定を編集する](#)
 - [バーコードスキャナー設定を指定する \(Windows\)](#)

バーコードスキャナー設定を指定する (Windows)

バーコードスキャナーをデバイスに接続する前に、BRConfiguration Tool の P-touch Template 設定を使用してバーコードスキャナーの設定を指定します。



- USB ケーブルで本デバイスをパソコンに接続します。
- ラベルに複数のオブジェクトデータを含めたり、データベースを検索して印刷したり、またはバーコードを読み取った直後に印刷したりするには、P-touch Template 設定を調整する必要があります。バーコードスキャナーの設定をカスタマイズすることで、コマンドをスキャナーで読み取った文字列に加えることができ、バーコードスキャナーはその文字列をデバイスに送信します。
 - ラベルに複数のオブジェクトデータを置く、またはデータベースを検索して印刷する場合は、**区切り記号欄**に「¥u0009」を入力します。
 - バーコードを読み取った直後に印刷するには、**印刷開始コマンド文字列**として**印刷開始トリガ欄**に「^FF」を入力します。

- 1 つまたは複数のデバイスを選択します。
2. **設定編集オプション** (右ペインの**設定下**) をクリックします。



複数のデバイスを選択した場合、または接続エラーが発生した場合、設定は表示されません。

3. **パスワード:**欄にパスワードを入力し、**OK** をクリックします。

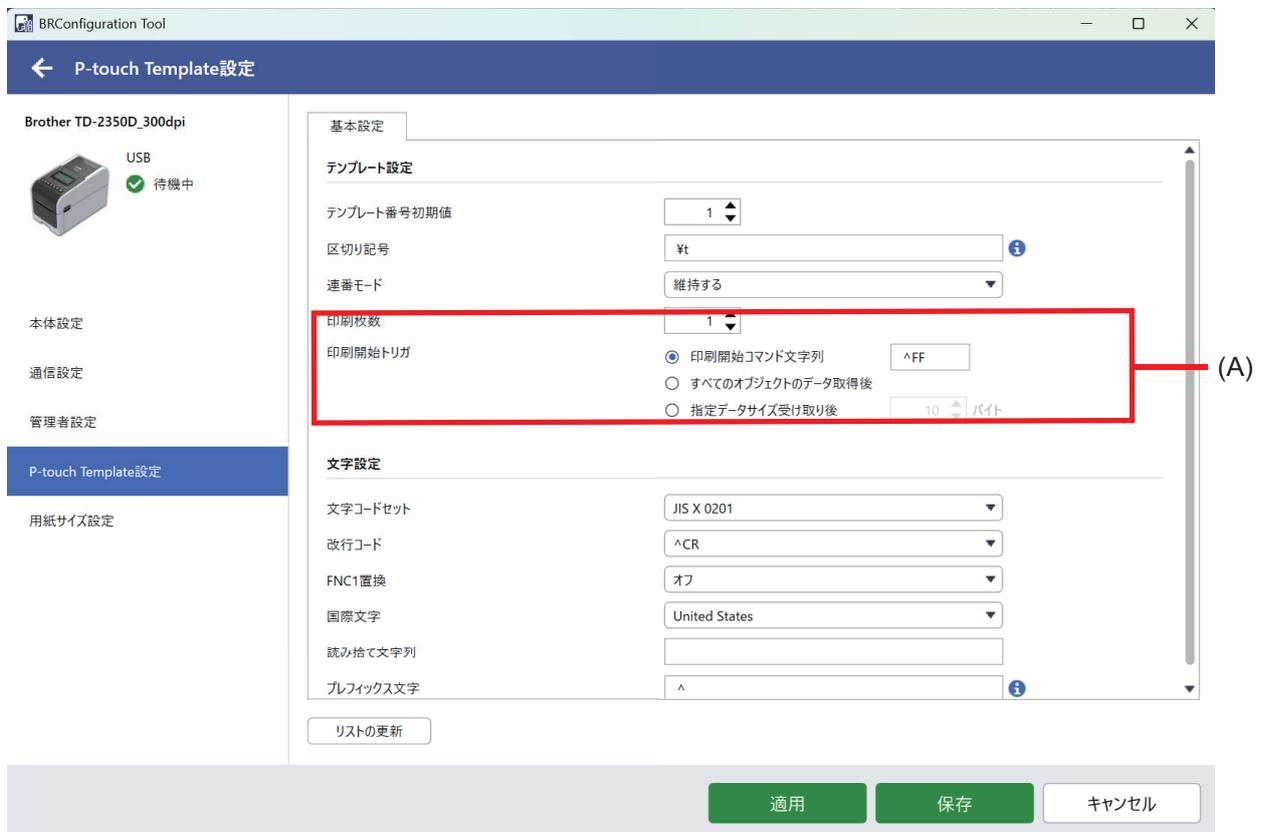


ネットワークへの接続にはパスワードが必要です。





4. 左ペインの **P-touch Template 設定** メニューをクリックします。
5. 使用する設定を選択します。





- お買い上げ時の設定では、バーコードスキャナーを使用してバーコードからコード「^FF」を読み込むと印刷が開始されます。（これは、前の画像の（A）で強調表示された設定を使用すると変更できます。）
指定データサイズ受け取り後オプションを選択してバイト数を設定すると、指定したバイト数の読み取り後にテンプレートが印刷されます。
- パソコンから印刷するたびに印刷モードの設定がラスターモードに戻るため、設定をテンプレートモードにもう一度変更する必要があります。
- デバイスの電源をオフにした後、もう一度オンにすると、デバイスはテンプレートモードで起動します。

6. 以下のいずれかを行ってください：

- 選択されたデバイスに設定を適用するには：
 - a. **適用**をクリックします。
- 設定ファイルをフォルダーに保存するには：
 - a. **保存**をクリックします。
 - b. **保存先:**欄に宛先フォルダーパスを指定します。
 - c. **暗号化する**を選択した場合は、**ファイルパスワード:**欄に暗号化パスワードを入力します。
 - d. **OK**をクリックします。



関連情報

- [P-touch Template 設定](#)

用紙サイズ設定

用紙サイズ設定を使用して、デバイスドライバーの用紙サイズリストにない用紙サイズを追加します。

使用可能な用紙サイズ以外の用紙サイズで印刷する前に、新しい用紙サイズをデバイスに送信して登録する必要があります。

デバイスに登録されていない用紙サイズを使用して印刷すると、意図した印刷結果を得られないことがあります。

• 用紙リスト

登録済みの用紙サイズのリストを表示します。



新しい用紙サイズを登録するための用紙サイズ設定ダイアログボックスを表示します。

お願い

登録済みのものと同じ用紙サイズは登録しないでください。意図しない印刷結果になることがあります。現在登録されているものと同じサイズの用紙を使用するには、用紙リストから必要なサイズを選択し、で設定を変更および上書きしてください。



選択した用紙形式の設定を編集します。

選択した用紙形式を新しい設定で保存する場合は、適用をクリックします。新しい設定の用紙形式を追加するには、用紙名で名前を変更し、適用をクリックします。



選択した用紙形式を削除します。削除した用紙形式は復元できません。

• 現在の用紙設定

登録済みのオプションから用紙サイズを選択します。

>> [用紙サイズ設定ダイアログボックス](#)

>> [現在の用紙設定タブ](#)

>> [印字調整タブ](#)

用紙サイズ設定ダイアログボックス

• 用紙名

追加する用紙設定の名前を入力します。

• 用紙検知

デバイスにセットされている用紙の情報を取得し、表示します。



このオプションを使用する場合はデバイスをアイドル状態にします。印刷ジョブの処理中または印刷中にデバイスを設定しようとする、誤作動する可能性があります。

• 用紙種類

用紙種類を選択します。

• キャンセル

設定をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じます。設定内容は保存されません。

• 追加

用紙形式を追加し、設定を適用します。

現在の用紙設定タブ

追加する用紙形式の詳細を指定します。

印字調整タブ

• エネルギーランク

特殊な用紙などを使用して、印字ヘッドの熱量（エネルギー）を調整します。



- お使いの環境や用紙によって、印字結果に濃淡の差が発生する場合があります。必要に応じて設定を変更してください。
- **エネルギーランク**設定を大きくすると、印刷結果が濃くなり、印刷速度が遅くなる場合があります。
- 印刷したラベル上のバーコードが読みにくい場合は、**エネルギーランク**設定を調整します。

• 印字基点補正

基準点の位置（印字位置を決める原点）を調整します。これにより、機種の違いやソフトウェアで固定した余白によって印刷結果がずれるような場合に、印字誤差を調整します。

ティアバー位置補正

ティアバーで用紙をカットする際のカット位置を調整します。

• 用紙センサー(透過型/ギャップ)

透過型/ギャップセンサーがプレカット紙ラベルのギャップ（隙間）を検出する精度、およびセンサーの光量を調整します。

用紙種類が**ダイカットラベル**に設定されている場合に設定できます。



本体設定ウィンドウの**用紙センサー(透過型/ギャップ)**の設定が、検出結果に影響を与えます。適切な値を指定してください。

設定例：

	設定例 1	設定例 2
本体設定	+2	-2
用紙サイズ設定	+2	+2
実際の効果	4	0

• 用紙センサー(反射型/バー)

反射型/黒マークセンサーが黒マークを検出する精度、およびセンサーの光量を調整します。



本体設定ウィンドウの**用紙センサー(反射型/バー)**の設定が、検出結果に影響を与えます。適切な値を指定してください。

設定例：

	設定例 1	設定例 2
本体設定	+2	-2
用紙サイズ設定	+2	+2
実際の効果	4	0

✓ 関連情報

- [設定を編集する](#)

デバイス上のファイルの追加または削除

BRConfiguration Tool を使用すると、選択したデバイスにテンプレート、データベース、フォント、画像などのファイルを追加または削除できます。

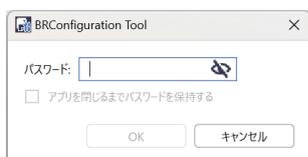


USB ケーブルで本デバイスをパソコンに接続します。

- 1つまたは複数のデバイスを選択します。
- ファイルの追加/削除オプション（右ペインの**設定下**）をクリックします。
- パスワード:**欄にパスワードを入力し、**OK** をクリックします。



ネットワークへの接続にはパスワードが必要です。



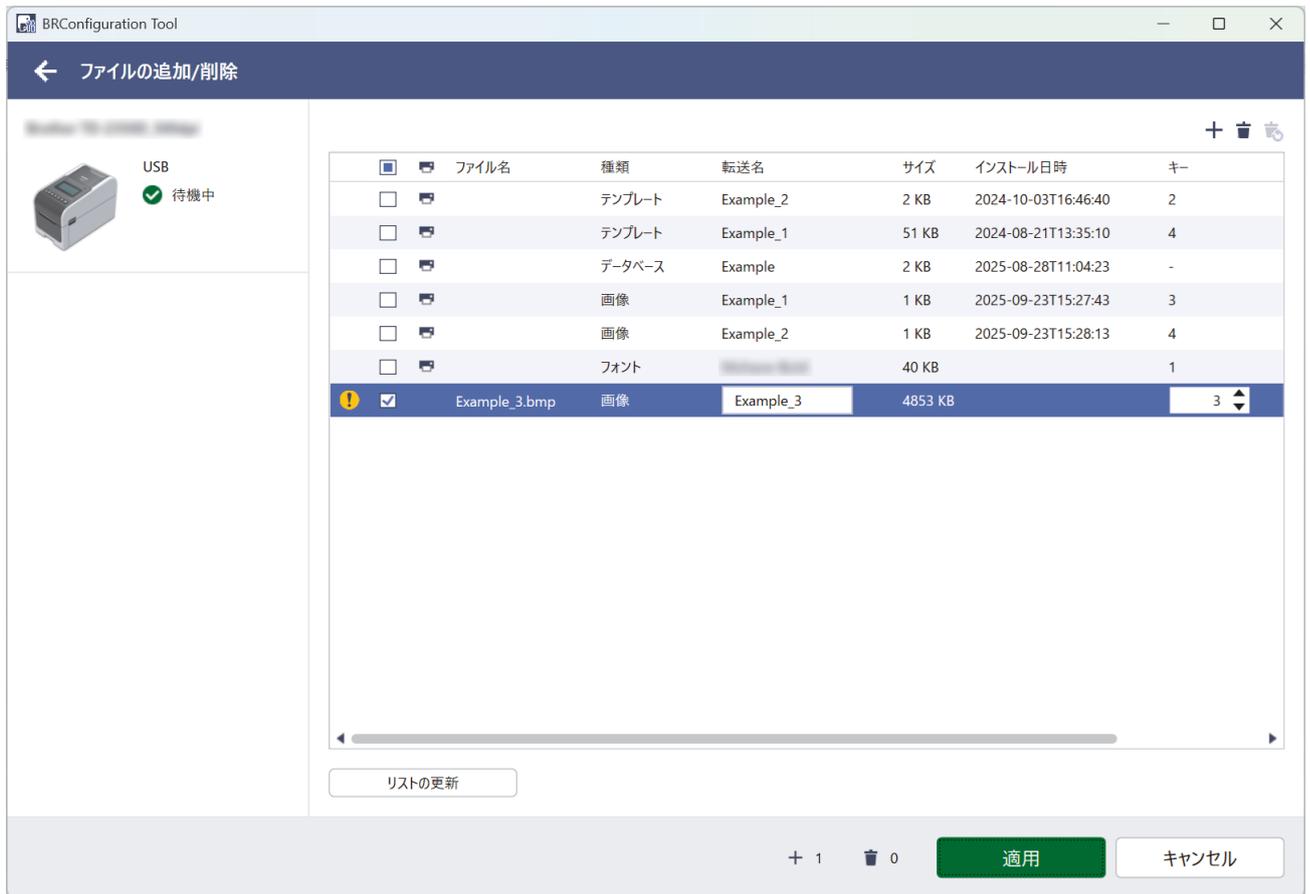
- 複数のデバイスが選択されている場合は、次の情報が表示されます。
 - 共有ファイル（これらすべてのデバイスで使用可能なテンプレート、データベース、フォント、および画像）。
 - これらのファイルのファイル情報（ファイルサイズ、ファイル転送名、キー割り当て番号）。
- リストには、次のアイコンが表示される場合があります。



警告



デバイスから受信したファイル



4. 次のいずれかを実行します。

- ファイルを追加するには、**+**をクリックします。



以下のデータおよびファイル形式を使用できます。

データの種類	ファイルの種類
テンプレート	*.lbx *.lbxs
仕上がりイメージ	*.bmp *.pcx
データベース	*.csv
フォント	*.otf *.tff

- ファイルを削除するには、ファイルを選択して  をクリックします。
- 削除をキャンセルするには、 をクリックします。

5. **キー**番号、つまりデバイス内のファイルの場所を変更するには、目的のファイルを選択し、**キー**番号を選択します。



キー番号は、デバイスのメモリに格納されているテンプレートおよびその他のファイルに割り当てられる数値の識別子です。

お願い

- データベースファイルには**キー**番号は割り当てられません。
- デバイ스에 保存済みのファイルまたはテンプレートに割り当てられている**キー**番号を入力すると、その**キー**番号の新しいファイルによって古いファイルが上書きされます。

6. ファイル転送名を変更するには、目的のファイルを選択し、新しい名前を入力します。

お願い

- ファイル名に使用できる最大文字数は、モデルによって異なります。
- デバイスに保存済みのテンプレートで使用されている名前を入力すると、その名前の新しいテンプレートによって古いテンプレートが上書きされます。

7. **適用**をクリックします。

✓ 関連情報

- [設定](#)
-

本体設定をバックアップする

BRConfiguration Tool は、選択されたデバイスから設定情報を取得し、その情報を指定されたフォルダーに保存します。

- 1つまたは複数のデバイスを選択します。
2. **設定のバックアップ**オプション（右ペインの**設定下**）をクリックします。



3. **デバイスパスワード:**欄にパスワードを入力します。
4. **保存先:**欄にフォルダーパスを入力するか、**参照**をクリックしてフォルダーパスを指定します。
5. 以下のいずれかを行ってください：
 - すべての設定をバックアップするには：
 - a. **全項目**を選択します。
 - 選択した設定をバックアップするには：
 - a. **選択した項目:**を選択します。
 - b. バックアップするアイテムのチェックボックスをオンにします。
6. デバイス固有の設定をバックアップから除外するには、**削除する**チェックボックスをオンにします。
7. 以下のいずれかを行ってください：
 - **暗号化する**を選択して、バックアップファイルを暗号化します。
 - バックアップファイルを暗号化しない場合は、**暗号化しない**を選択します。
8. **バックアップ**をクリックします。



バックアップファイルのパスワードは、デバイスのパスワードと同じです。



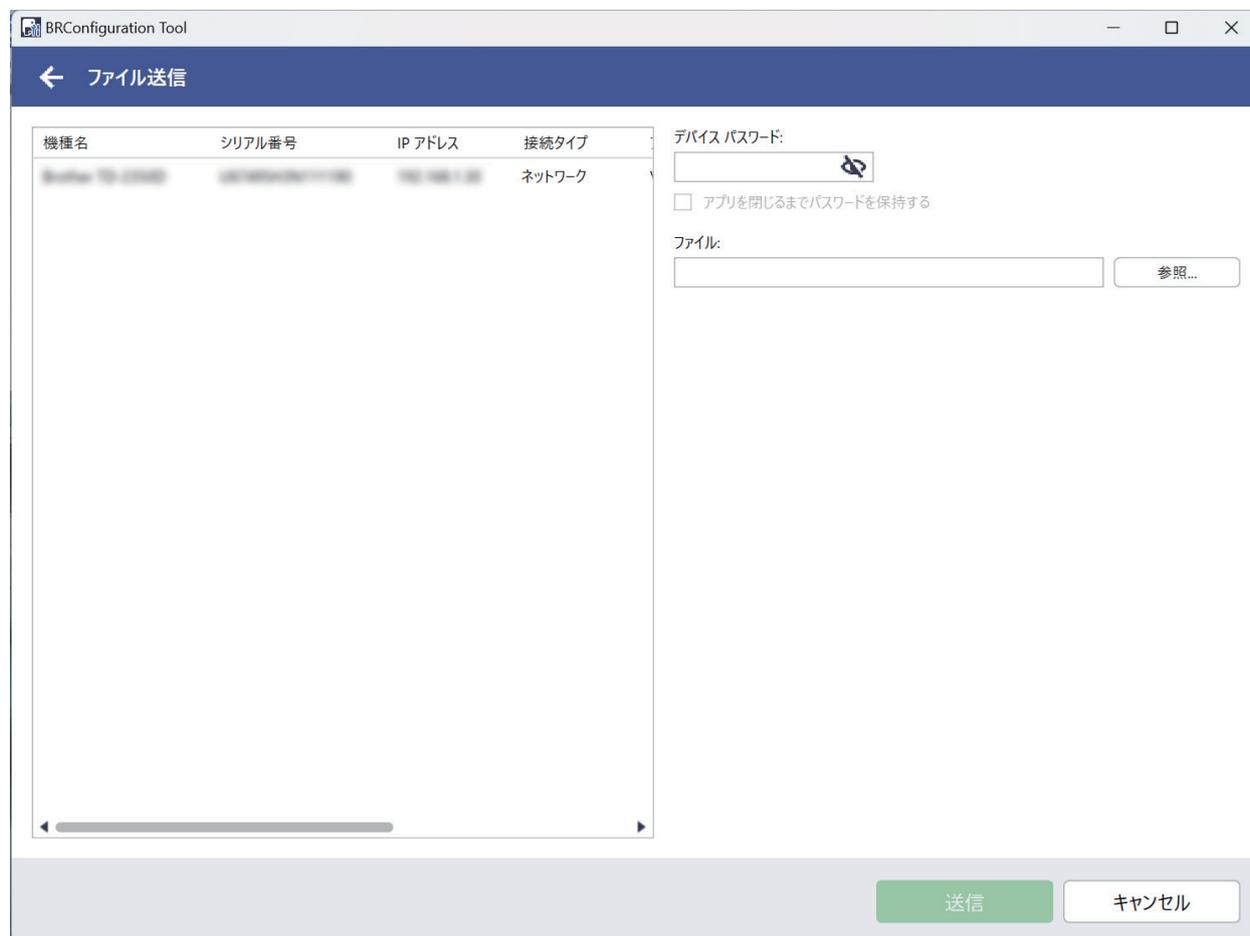
関連情報

- 設定

本体設定ファイルを送信する

BRConfiguration Tool を使用すると、BIN、ELDPK、JSON、または BLF 形式の設定ファイルを選択デバイスに送信できます。

- 1つまたは複数のデバイスを選択します。
2. **ファイル送信オプション**（右ペインの**設定下**）をクリックします。



3. **デバイス パスワード:**欄にパスワードを入力します。
4. **ファイル:**欄にファイルパスを入力するか、**参照**をクリックしてファイルパスを指定し、送信するファイルを選択します。
5. **送信**をクリックします。

✓ 関連情報

- [設定](#)

メンテナンス

- デバイスファームウェアを更新する
- 本体設定を印刷する
- デバイスをダンプモードに切り替える
- プリントヘッドのステータスを確認する
- 工場出荷時のデフォルト設定にリセットする
- 自動 Bluetooth 再接続を無効にする
- デバイスを再起動する
- 選択デバイスの電源を切る

デバイスファームウェアを更新する

1. 1つまたは複数のデバイスを選択します。
2. **ファームウェア アップデート**オプション（右ペインの**メンテナンス**下）をクリックします。
3. **デバイス パスワード:**欄にパスワードを入力します。
4. **送信**をクリックします。

最新バージョンのファームウェアが利用可能な場合は、BRConfiguration Tool によってダウンロードされ、選択されたデバイスのファームウェアが自動的に更新されます。

✓ 関連情報

- [メンテナンス](#)

本体設定を印刷する

BRConfiguration Tool を使用して、選択されたデバイスの本体設定を印刷できます。

1. 1つまたは複数のデバイスを選択します。
2. **本体設定印刷** オプション（右ペインの**メンテナンス**下）をクリックします。
3. **デバイス パスワード:**欄にパスワードを入力します。
4. **適用**をクリックします。

✓ 関連情報

- [メンテナンス](#)

デバイスをダンプモードに切り替える

BRConfiguration Tool を使用して、選択したデバイスにダンプモードを設定できます。

1. 1つまたは複数のデバイスを選択します。
2. **ダンプモードへの切替オプション**（右ペインの**メンテナンス**下）をクリックします。
3. **デバイス パスワード:**欄にパスワードを入力します。
4. **適用**をクリックします。



通常の印刷を再開するには、デバイスの電源をオフにし、再び電源をオンにします。



関連情報

- [メンテナンス](#)

プリントヘッドのステータスを確認する

BRConfiguration Tool を使用して、選択したデバイスのプリントヘッドのステータスをチェックできます。

1. 1つまたは複数のデバイスを選択します。
2. **印字ヘッドの状態を確認する**オプション（右ペインの**メンテナンス**下）をクリックします。
3. **デバイスパスワード**:欄にパスワードを入力します。
4. **適用**をクリックします。

✓ 関連情報

- [メンテナンス](#)

工場出荷時のデフォルト設定にリセットする

BRConfiguration Tool を使用して、選択されたデバイスの現在の設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

- 1つまたは複数のデバイスを選択します。
- リセットメニューオプション**（右ペインの**メンテナンス**下）をクリックします。
- デバイス パスワード:**欄にパスワードを入力します。
- 以下のいずれかを行ってください：
 - **全項目**を選択して、すべての設定をリセットします。
 - **転送データ（テンプレート、データベース、フォント、フィルター、画像）**を選択して、デバイスに転送されたデータをリセットします。
5. **適用**をクリックします。

✓ 関連情報

- [メンテナンス](#)

自動 Bluetooth 再接続を無効にする

BRConfiguration Tool を使用して、選択されたデバイスの Bluetooth 自動ペアリングを無効にできます。

1. 1 つまたは複数のデバイスを選択します。
2. **Bluetooth の自動再接続先の削除** オプション（右ページの **メンテナンス** 下）をクリックします。
3. **デバイス パスワード:** 欄にパスワードを入力します。
4. **適用** をクリックします。

✓ 関連情報

- [メンテナンス](#)

デバイスを再起動する

BRConfiguration Tool を使用して、選択されたデバイスを再起動できます。

1. 1つまたは複数のデバイスを選択します。
2. **デバイスの再起動**オプション（右ペインの**メンテナンス**下）をクリックします。
3. **デバイス パスワード:**欄にパスワードを入力します。
4. **適用**をクリックします。

✓ 関連情報

- [メンテナンス](#)

選択デバイスの電源を切る

BRConfiguration Tool を使用して、選択されたデバイスの電源を切ることができます。

1. 1つまたは複数のデバイスを選択します。
2. **デバイスの電源 OFF** オプション（右ペインの**メンテナンス**下）をクリックします。
3. **デバイス パスワード:**欄にパスワードを入力します。
4. **適用**をクリックします。

✓ 関連情報

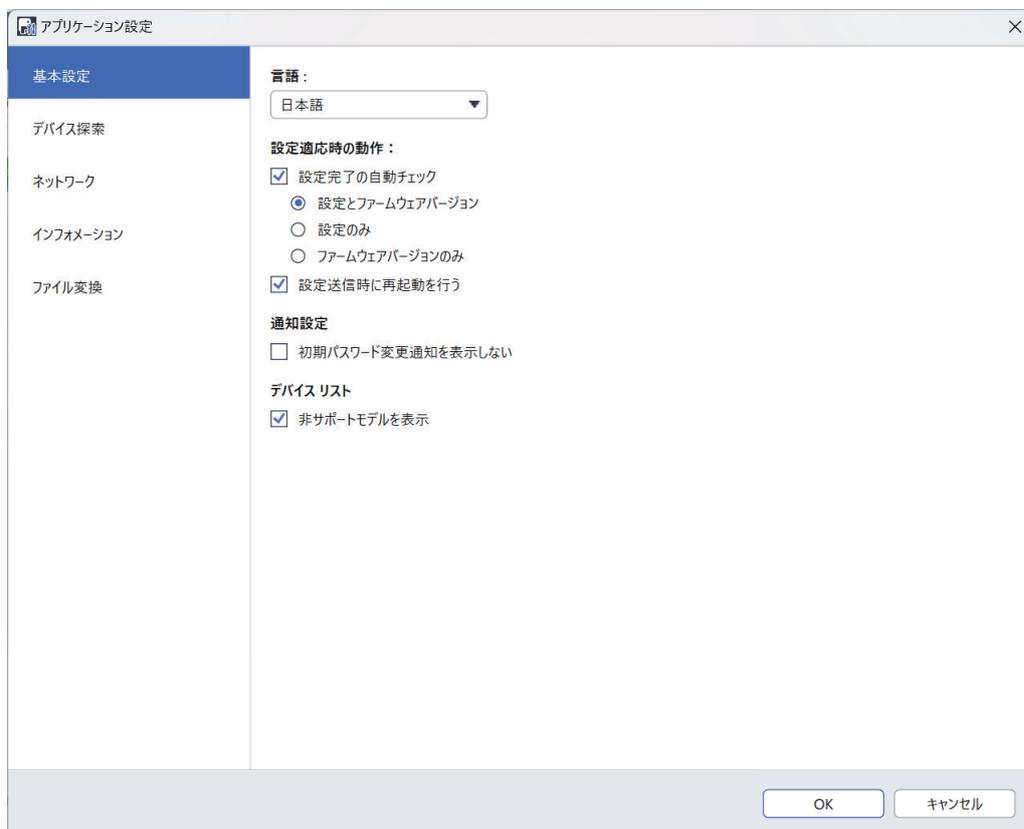
- [メンテナンス](#)

アプリケーションの設定

- 全般の設定を行う
- デバイス検出の設定を行う
- ネットワークの設定を行う
- 本体設定構成ログを保存する
- アプリケーション情報を表示する
- 本体設定ファイルを変換する

全般の設定を行う

1.  をクリックして**アプリケーション設定**ウィンドウを開きます。
2. 左ペインの**基本設定**メニューをクリックします。



3. **言語**: ドロップダウンリストの言語を選択します。
4. **設定完了の自動チェック**チェックボックスをオンにして、設定とファームウェアの適用後に検証します。
以下のいずれかを行ってください：
 - **設定とファームウェアバージョン**を選択して、設定とファームウェアの両方が正常に適用されたかどうかを確認します。
 - **設定のみ**を選択して、設定が正常に適用されたかどうかを確認します。
 - **ファームウェアバージョンのみ**を選択して、ファームウェアが正常に適用されたかどうかを確認します。
5. **設定送信時に再起動を行う**チェックボックスをオンにして、設定の適用後に再起動します。
6. **初期パスワード変更通知を表示しない**チェックボックスをオンにして、初期パスワードが変更されていないという警告を無効にします。
7. サポートされていない機種をデバイスリストに表示するには、**非サポートモデルを表示**チェックボックスをオンにします。
8. **OK** をクリックして設定を保存し、**アプリケーション設定**ウィンドウを閉じます。

✓ 関連情報

- [アプリケーションの設定](#)

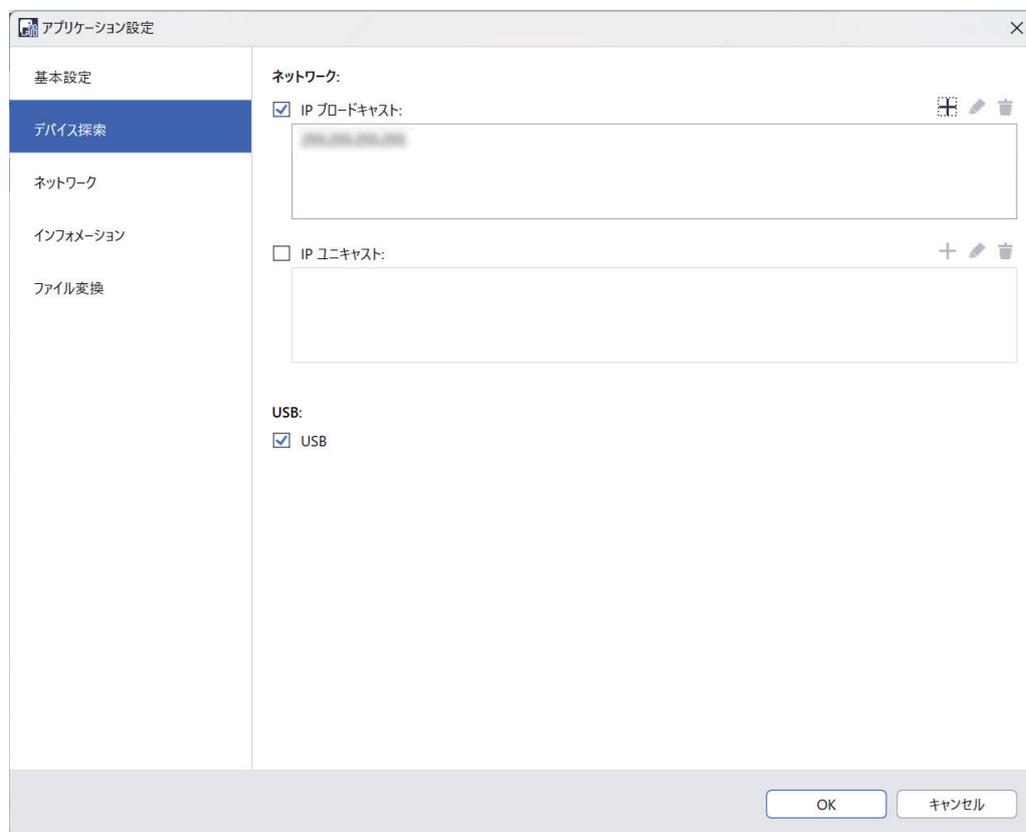
関連トピック：

- [トラブルシューティング](#)

デバイス検出の設定を行う

デバイスを検出するようにデバイス探索設定を構成します。

1.  をクリックして **アプリケーション設定** ウィンドウを開きます。
2. 左ペインの **デバイス探索** メニューをクリックします。



3. ローカルエリアネットワークまたはサブネット上のすべてのデバイスを検索するには、**IP ブロードキャスト**: チェックボックス (**ネットワーク**:の下) をオンにします。

以下のいずれかを行ってください：

- **+** をクリックしてブロードキャストアドレスを追加します。
ブロードキャストアドレスを入力し、**OK** をクリックします。
- **◆** をクリックしてブロードキャストアドレスを編集します。
ブロードキャストアドレスを編集し、**OK** をクリックします。
- 不要になったブロードキャストアドレスを削除するには、**🗑** をクリックします。

4. 特定の IP アドレスを持つデバイスを検索するには、**IP ユニキャスト**: チェックボックス (**ネットワーク**:の下) をオンにします。

以下のいずれかを行ってください：

- **+** をクリックして IP アドレスを追加します。
以下のいずれかを行ってください：
 - **アドレス指定** : をクリックして IP アドレスを指定します。
IP アドレスを入力し、**OK** をクリックします。
 - **範囲指定** : をクリックして IP アドレスの範囲を指定します。
IP アドレスの範囲を入力し、**OK** をクリックします。
 - TXT ファイルをインポートして複数の IP アドレスまたは IP アドレスの範囲を指定するために、**アドレスリストのインポート**: をクリックします。

ファイルパスを入力するか、**参照**をクリックして必要な TXT ファイルを選択し、**OK** をクリックします。

-  をクリックして、IP アドレスを編集します。

目的の IP アドレスを編集し、**OK** をクリックします。

- 不要になった IP アドレスを削除するには、 をクリックします。

5. USB 接続デバイスを検索するには、**USB** チェックボックス (**USB:**の下) を選択します。

6. **OK** をクリックして設定を保存し、**アプリケーション設定** ウィンドウを閉じます。

関連情報

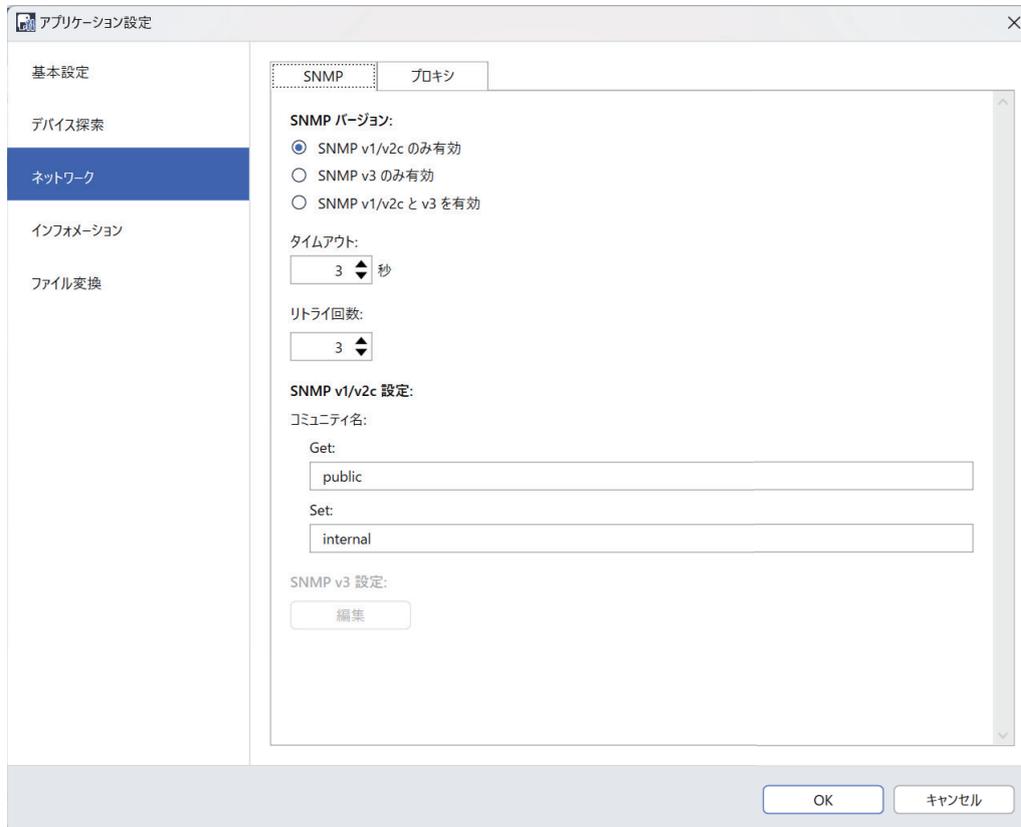
- [アプリケーションの設定](#)

関連トピック：

- [新しいデバイスを検出する](#)
 - [デバイスを検出できない場合](#)
-

ネットワークの設定を行う

1.  をクリックして **アプリケーション設定** ウィンドウを開きます。
2. 左ペインの **ネットワーク** メニューをクリックします。



3. **SNMP** タブをクリックします。
4. **SNMP バージョン**: メニューからオプションのいずれかを選択します。
5. **タイムアウト**: スピンボックスで SNMP 通信タイムアウトを指定します。
6. **リトライ回数**: スピンボックスで SNMP 通信再試行回数を指定します。
7. **Get**: 欄と **Set**: 欄に SNMP 通信名を指定します (**SNMP バージョン**: メニューの **SNMP v1/v2c のみ有効** オプションまたは **SNMP v1/v2c と v3 を有効** オプションを選択した場合)。
8. **SNMP v3 設定**: の下にある **編集** ボタンをクリックします (**SNMP バージョン**: メニューの **SNMP v3 のみ有効** オプションまたは **SNMP v1/v2c と v3 を有効** オプションを選択した場合)。
ユーザー名、認証プロトコル、認証パスワード、プライバシープロトコル、プライバシーパスワード、コンテキスト名を指定します。
9. **Proxy** タブをクリックします。
10. 以下のいずれかを行ってください：
 - プロキシサーバーの設定を自動で行うには、**自動** を選択します。
 - プロキシサーバーの設定を手動で行うには、**手動**: を選択し、サーバー名、ポート、ユーザー名、およびパスワードを指定します。
11. **OK** をクリックして設定を保存し、**アプリケーション設定** ウィンドウを閉じます。

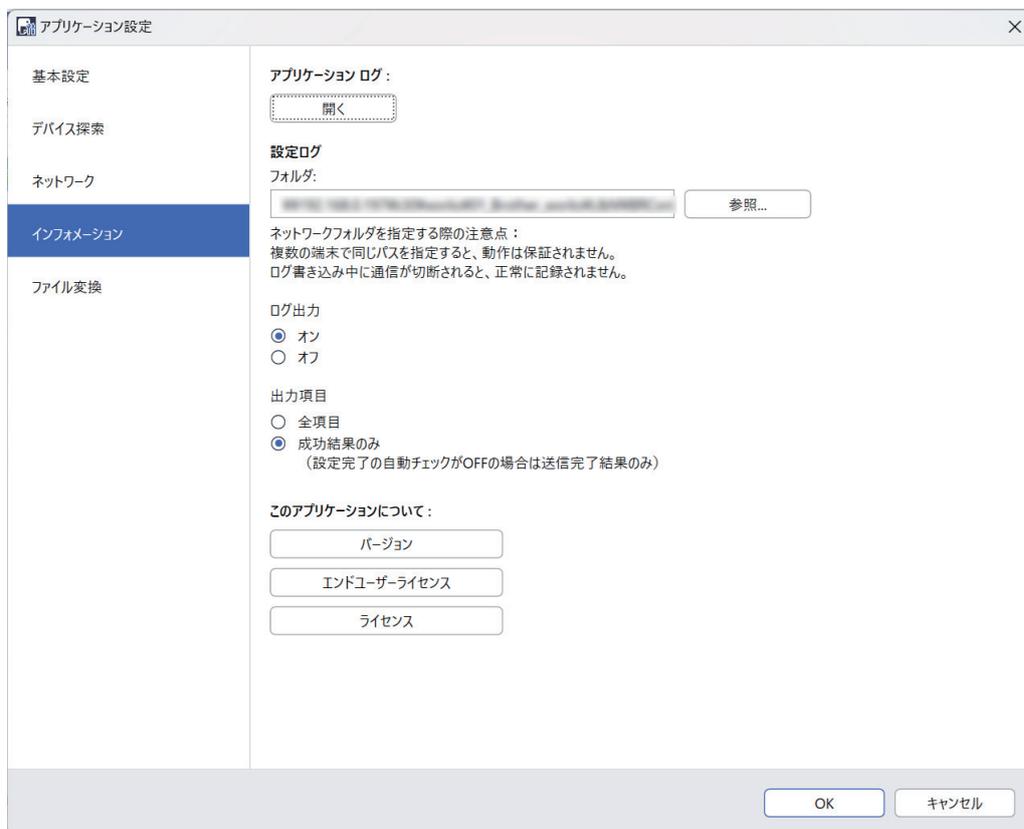
✓ 関連情報

- [アプリケーションの設定](#)

本体設定構成ログを保存する

BRConfiguration Tool を使用すると、**ファイル送信オプション**を使用してデバイスにファームウェア、設定、またはコマンドファイルを送信するとき、または**設定編集オプション**の設定を変更してデバイスに適用するときに、ログを保存できます。

1.  をクリックして**アプリケーション設定**ウィンドウを開きます。
2. 左ペインの**インフォメーション**メニューをクリックします。



3. **フォルダ:**欄にフォルダパスを入力するか、**参照**ボタンをクリックして、ログファイルを保存するフォルダを選択します。
4. **オン (ログ出力下)** を選択して、この機能を有効にします。
5. 以下のいずれかを行ってください：
 - 全設定の結果をログに記録するには、**出力項目の全項目**ボタンをクリックします。
 - 適用が成功した設定のみの結果をログに記録するには、**出力項目の成功結果のみ**ボタンをクリックします。
6. **OK** をクリックして設定を保存し、**アプリケーション設定**ウィンドウを閉じます。

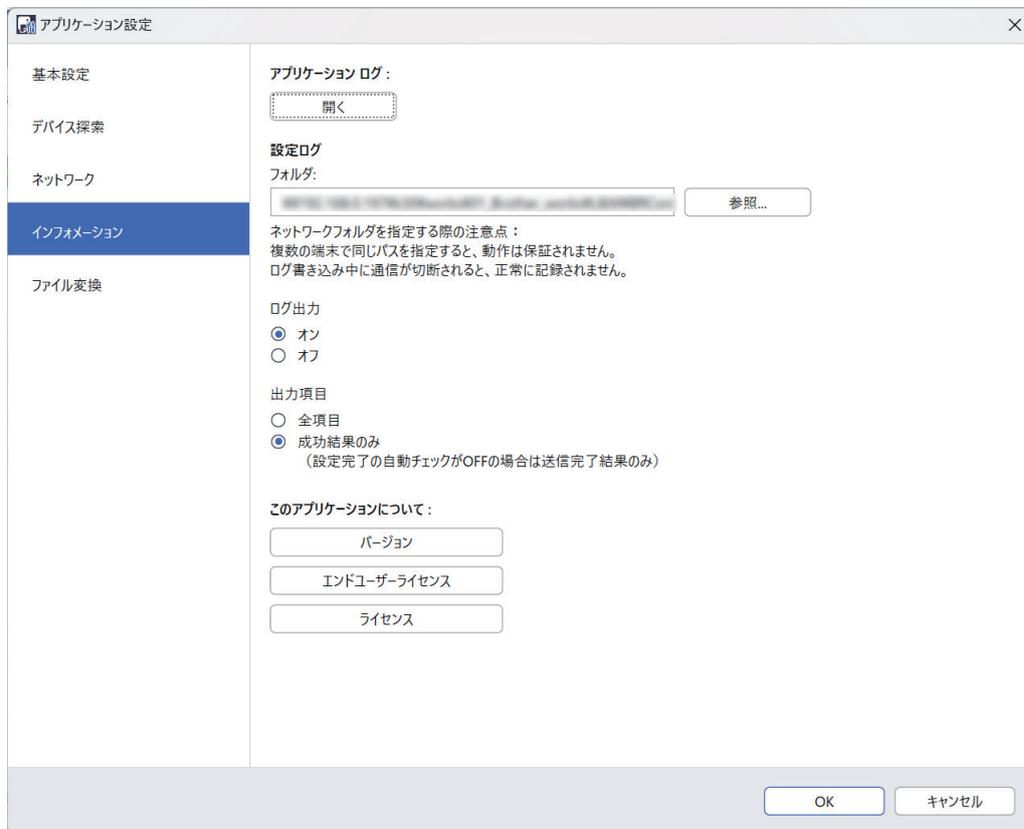
✓ 関連情報

- [アプリケーションの設定](#)

アプリケーション情報を表示する

BRConfiguration Tool のバージョン、著作権、およびライセンス情報を表示するには、次の手順を実行します。

1.  をクリックして**アプリケーション設定**ウィンドウを開きます。
2. 左ペインの**インフォメーション**メニューをクリックします。



3. このアプリケーションのバージョンと著作権を表示するには、**バージョン**ボタン（このアプリケーションについて :下）をクリックします。
OK ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。
4. このアプリケーションで使用されているオープンソースソフトウェアのエンドユーザーライセンス契約を表示するには、**エンドユーザーライセンス**ボタン（このアプリケーションについて :下）をクリックします。
閉じるボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。
5. このアプリケーションで使用されているオープンソースソフトウェアのライセンス契約を表示するには、**ライセンス**ボタン（このアプリケーションについて :下）をクリックします。
閉じるボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。
6. **OK** をクリックして、**アプリケーション設定**ウィンドウを閉じます。

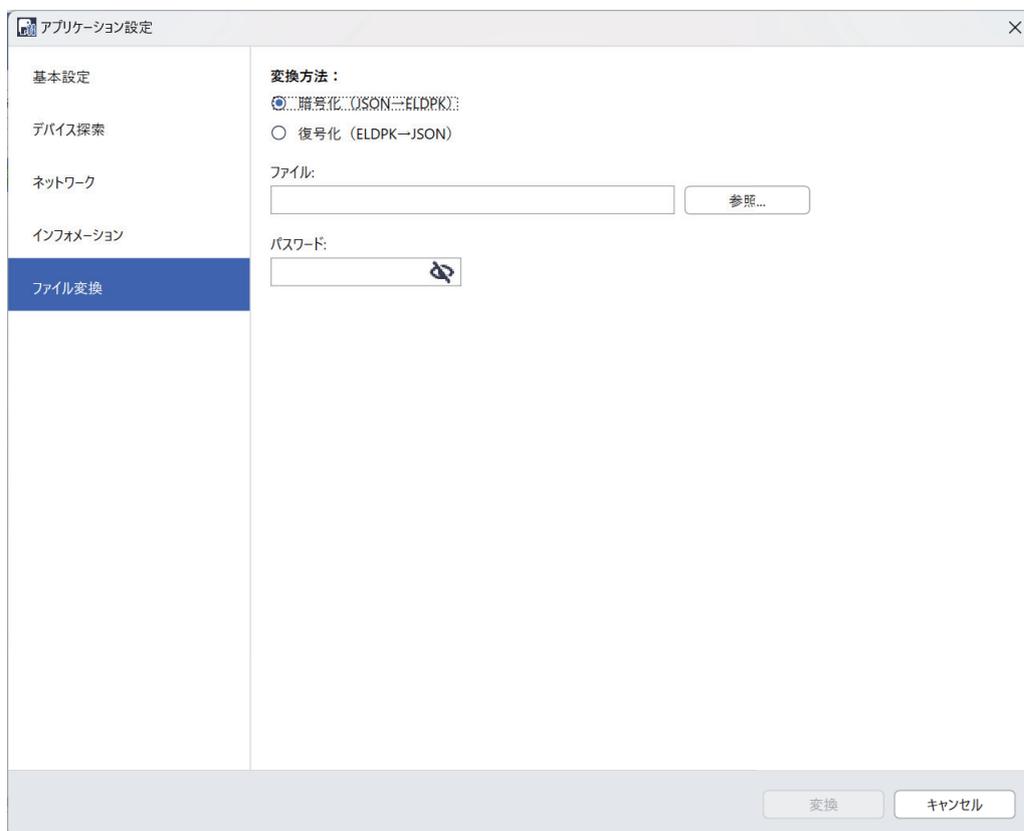
✓ 関連情報

- [アプリケーションの設定](#)

本体設定ファイルを変換する

BRConfiguration Tool は JSON や ELDPK の設定ファイル形式をサポートしており、これらのファイルの暗号化と復号化を行うことができます。

1.  をクリックして **アプリケーション設定** ウィンドウを開きます。
2. 左ペインの **ファイル変換** メニューをクリックします。



3. 以下のいずれかを行ってください：
 - JSON ファイルを ELDPK ファイルに変換するには、**暗号化 (JSON→ELDPK)** を選択します。
 - ELDPK ファイルを JSON ファイルに変換するには、**復号化 (ELDPK→JSON)** を選択します。
4. **ファイル:** 欄にファイルパスを入力するか、**参照**をクリックして、変換するファイルの場所を指定します。

 変換されたファイルは、元のファイルと同じフォルダーに保存されます。

5. **パスワード:**欄にパスワードを入力します。

 暗号化の場合：任意のパスワードを入力します。
復号化の場合：バックアップファイルの作成時にデバイスに設定されたパスワードを入力します。

6. **変換**をクリックしてファイルを変換します。

✓ 関連情報

- [アプリケーションの設定](#)

関連トピック：

- [トラブルシューティング](#)

■ トラブルシューティング

- デバイスを検出できない場合
- トラブルシューティング

デバイスを検出できない場合

すべてのネットワーク接続タイプ：

次のことを確認してください。

- パソコンがネットワークに接続されている。
- 対象デバイスがネットワークに接続されている。
- 対象デバイスの電源が入っている。
- セキュリティソフトウェアや Windows ファイアウォールによって検出が中断されていない。
- 対象デバイスが検出の条件や基準を満たしている。
- 対象デバイスがブロードキャストパケットの届く範囲内にある。そうでない場合は、ユニキャスト検索を試すか、BRAgent ソフトウェアを使用する必要があります。

USB 接続デバイス：

次のことを確認してください。

- 対象デバイスが USB インターフェースに接続されている。
- 対象デバイスがビジー状態でない。

✓ 関連情報

- [トラブルシューティング](#)

関連トピック：

- [デバイス検出の設定を行う](#)

トラブルシューティング

問題	対処
機種がリストにありますが、検索フィールドでその機種を検索しても、結果が表示されません。	機種名フィルターを使用して、機種名を検索します。
デフォルトパスワードを変更後も、デバイスを使用する前にデフォルトパスワードを変更するように求めるポップアップメッセージが表示されます。	ポップアップウィンドウで 次回以降表示しない チェックボックスをオンにします。
バックアップした設定ファイルと証明書を送ることができません。	暗号化されていない設定ファイルはデバイスに送信できますが、暗号化されていない証明書は送信できません。バックアップ時に暗号化を選択するか、設定ファイルと証明書を ELDPK 形式に変換してからデバイスに送信します。 ファイルを ELDPK 形式に変換する方法については、「関連トピック」をご覧ください：本体設定ファイルを変換する
デバイスに ELDPK ファイルを送信しましたが、エラーが発生して設定を適用できませんでした。	ネットワークに接続されたデバイスに ELDPK ファイルを送信する場合、ELDPK ファイルのパスワードがデバイスのパスワードと同一である必要があります。  ネットワークに接続されているデバイスの設定を BRConfiguration Tool を使用してバックアップする場合、デバイスのパスワードがバックアップする ELDPK ファイルのパスワードになります。
6 台以上のデバイスを選択できません。	一度に選択できる USB 接続デバイスは、最大 5 台です。
BLF ファイルを送信できません。	BLF ファイルとして送信できるのは、ファームウェアファイルのみです。
デバイスにエラーが表示されます。タスクを再開したいのですが、タスクウィンドウを既に閉じています。タスクを再開するためにウィンドウを再度開くにはどうすればよいですか。	一度ウィンドウを閉じた後、タスクを再開することはできません。デバイスをもう一度選択し、必要な手順をすべて繰り返します。
設定を適用後に、メッセージ 完了 が表示されますが、設定がデバイスに反映されていません。	設定完了の自動チェック チェックボックスと 設定送信時に再起動を行う チェックボックス（ アプリケーション設定 ウィンドウ内）をオンにして、設定を適用後にデバイスの検証と再起動ができるようにします。 詳しい説明は「関連トピック」をご覧ください：全般の設定を行う
設定ログファイルに設定した内容が表示されません。	設定編集 オプションを使用してこれらの設定を適用した場合にのみ、設定した内容が設定ログファイルに反映されます。設定ファイルを送信して設定を適用すると、設定ファイルの名前がログファイルに記録されます。設定した内容を確認するために設定ファイルをチェックしてください。
ネットワーク経由でデフォルトパスワードを変更できません。	LCD パネル搭載モデルは、デバイスの初期設定モードを有効にする事で初期パスワードを入力せずにパスワードの変更ができます。（複数台まとめて変更できます） LCD パネルが搭載されていないデバイスの場合、初期パスワードを入力してパスワードを変更します。初期パスワードは機種によって異なりますが、デバイスの底面、背面、または内部に「PWD」と記載されています。各デバイスごとに個別にパスワードの更新が必要です。 詳しい説明は「関連トピック」をご覧ください：デバイスパスワードを変更する
ネットワークに接続されたデバイスに対する機能がまったく使用できません。	次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 正しいパスワードを入力したこと。 デフォルトパスワードを変更したこと。ネットワークに接続されたデバイスに対して BRConfiguration Tool を使用する場合は、セキュリティ向上のため、デフォルトパスワードを変更する必要があります。

問題	対処
<p>ステータス列が待機中ステータスになっているデバイスを使用しようとすると、接続に失敗しましたメッセージが表示されます。</p>	<p>次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デバイスの電源が入っている。 • デバイスとパソコンがネットワークまたはUSB 経由で接続されている。 • デバイスがビジー状態でない。 <hr/> <p> デバイスの検出後に手動で更新しない限り、BRConfiguration Tool はデバイスステータスを更新しません。</p>

✓ 関連情報

- [トラブルシューティング](#)

関連トピック：

- [デバイスパスワードを変更する](#)
- [本体設定ファイルを変換する](#)
- [全般の設定を行う](#)

brother